

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-94)、
廃棄物管理施設(69)、MOX燃料加工施設(2-54))」

2. 日時：令和5年8月31日(木) 13時30分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専
門員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長
他2名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月28
日及び8月30日の提出資料に基づき、申請対象設備の分類及び構造設計
等に係る整理について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理の方針については、これま
でのヒアリングでの確認事項等を踏まえて整理が進んできたが、一部不透
明な事項もあるので、引き続きこれまで整理した内容や考え方を資料に反
映する。本日のヒアリングを踏まえた対応方針について、ポイントを踏ま
えて項目等を整理し適宜示す。
- ・廃棄物管理施設については、再処理施設と一体で説明するとしたこれまで
の方針を踏まえ、設備分類の設定等の説明の進め方を改めて整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月28日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年8月30日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録を開始しました。
0:00:04	はい、規制庁山口です。それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、
0:00:16	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、ヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:26	熊崎規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からヨコヤマオオカとその他WEBから、
0:00:35	コサクカミデタケダフジワラオオハシキシノ。
0:00:42	ハバサキオノヤマグチ以上になります。
0:00:47	それでは日本原燃の方から出席者の紹介をお願いします。
0:00:53	はい。
0:00:54	日本例年事務局の中浜でございます。
0:00:58	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:01	Steeringチームより、イシハラ、
0:01:05	イシグロ、タカヤ、
0:01:07	MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:14	はい。規制庁山口です本日のヒアリング資料については、東京通常2本、
0:01:22	第
0:01:23	令和5年8月28日に提出があった共通住民との昨日提出があった対応方針等認識してます。まずはその例年側から、
0:01:34	等、
0:01:35	対応方針と絡めて共通中に本体まず1ポツに関して説明をお願いします。
0:01:44	はい。宮城の石原でございます。はい。それでは、共通12R11ということで令和5年8月28日に、
0:01:55	提出をさせていただきました資料について、ご説明をさせていただきます。
0:02:00	まず右下3ページですね、1ポツ概要ということでございます。
0:02:07	この概要を作るにあたって
0:02:12	確認をし、しながらということで作らせていただいて対応方針側が、
0:02:17	1ポツ1、本文の構成記載事項の整理というの上から一つ目、二つ目でございます。今回反映しました事項については、対応予定日の欄2、

0:02:30	この資料の中での構成のどの部分で反映をしたかがわかるように、それぞれ記載をさせていただいています。ただ
0:02:40	1234 とかですね何となく対象がよくわかんなくなるような書き方をしているところもありますが、基本的には本文 1 ポツだったり本文の 2 ポツ、2 本、2.1 ということでの、
0:02:52	どこに反映をしたかと、いうことがわかるようにさせていただいてございます。はい。
0:02:58	1 ポツに関係するところは、まず 2-1 のシステム設計構造設計等への解析評価等、こういったものを設計として説明対象であるということを確認した上で、
0:03:11	この共通要因の体系的な説明の方針を、本文として整理をすると、ということと後は、この本文の章立てとして、今からご説明する 1 ポツ全体の大枠の説明をすると、この共通に扱うものがどんなものがあるかと。
0:03:27	ということも含めた全体を説明をするということで、整理をさせていただきました。
0:03:33	右下 3 ページのところから始まる概要につきましては、この共通順位で対象にする設計、
0:03:41	構造設計等の説明対象が一体何に当たるのかということと、それをどうという考え方に基づいて、申請対象設備全体に対してもう的にかつ、
0:03:53	合理的に体系的に説明をしていくのかと、いうことの骨格を書かせていただいています。
0:04:00	そういう意味で本資料はと書いてある一番頭別として 2 段落目から、震災対処設備具体的な設備等設計が、撤去設計方針等の設計を踏まえたものであることと、
0:04:13	いうことを示すために、どういう仕組みで、この説明を展開をするかということを書いていること、また 3 段落目のところではその対象がシステム設計構造設計等と、
0:04:25	解析評価等を対象にしていると、いうこと。
0:04:29	あと説明すべき項目というのを定義をしておりますが、この各条文の要求事項等を網羅的に考慮すべき対象物とのひもづけをしながら、展開をしていくということ。
0:04:43	その際には、やはり種類型化というものをやりながら、合理的に説明をする手法をとりたいと思っておりますので、設計説明分類の設定とか、説明グループの設定をさせていただくということでございます。

0:04:59	はい。そういった説明をする上でこの資料の中で取り扱う資料のパーツとして、3 ページ、右下 3 ページの下から、資料 1 から資料 4 までの構成で、
0:05:12	説明を展開をしていくと、いうことを、
0:05:16	あと資料 1 資料 2 の段階でここで、網羅的にということの必要事項の抽出までをやっちゃって、そこで退出物に対して説明が必要だといった項目に対して資料 3 資料 4 で、
0:05:31	構造設計の話であったり、解析評価等の話であったりということを展開をさせていただくということで、全体大枠の説明を整理をさせていただきました。
0:05:41	1 ポツ部分説明以上です。
0:05:44	はい。規制庁山口です。それじゃまず 3 ページ 4 ページ、1 ページ目までで、ここまでで何か規制庁側からありますでしょうか。
0:06:02	補足です。
0:06:06	国が話していた通りで
0:06:11	整理をされているというふうに理解をしたんでいいんですけど。
0:06:16	減免内では、講話、皆さん、
0:06:19	認識できている、この文章で認識できたということで大丈夫ですかね。
0:06:29	はい。弓削ニシダでございます。はい。
0:06:33	認識できたと私は思ってますって言うても駄目ですね。この文書を書いて、説明もしました。
0:06:43	理解しているかなというふうには思ってますが、引き続き、
0:06:48	わからないところがあるのかとか旅館が埋まってないところがあるのかっていうのは、話をしながら詰めていきたいと思ってます。はい。
0:06:58	はい。規制庁補足です。大枠でいうと、これまでの話でもあったように、説明すべき事項というこの等の用語を使ってですね、
0:07:10	整理をしていこうというゴトウだと思うんですけど。
0:07:17	当初 4 ページの
0:07:18	丸ぼつになってるところ 2、
0:07:23	第一行目第 2 行目には説明すべき項目というふうになってるんですけど、第 3 行目に説明が必要な事項確保説明効果設計項目。
0:07:36	ていうのがあるんですが、
0:07:38	これは何ですか。

0:07:43	右の瀬谷でございます。はい。まず設計名すべき項目っていうのに括弧書きがついていなかったりというところは共通的な書き方になってないので改めたいと思いますというのがまず1点と、
0:07:58	あとそれと設計すべき項目説明すべき項目というのは要求事項側の話をしているので、そこから設計として、構造設計なり解析評価なり、
0:08:10	説明するものと紐づけていくということを意識して説明が必要な事項と、括弧設計項目と書きはしたんですが、今後言ってみれば、説明すべき項目そのものを、
0:08:22	具体的に展開してるだけで対象が変わるというわけではないというのが認識でございます。
0:08:30	はい、古作です。
0:08:32	どうだとすると、
0:08:34	どう、どうすればいいんだろうというところで、もう少し細分化したものをワードとして固めて認識を統一した方がいいのか。
0:08:47	あまり考えなくていいのかっていうのどっちですかね。ちょっと布施の方はちょっと読み込めてないので申し訳ないんですけど、isイマセヤギニシダでございます。はい。おっしゃっていただいとるところをすると、用語定義をしながらもう少し細分化して、
0:09:05	展開をするやり方を考えた方がいいと、今は思っていました。理由は、要求事項みたいなものから上流から展開をしていく上で、
0:09:16	最終的には設備の設計を説明しないといけないんですが、その段階で、行動だったりシステムだったり配置だったり、評価だったりと、
0:09:28	いう設計内容ですね、そういったものに結びつけていかなきゃいけないところが、より具体的にそういうことを意識しないといけないっていうことを植えつけるためにもう、もう少し細分化した。
0:09:43	用語の定義だったり、言葉遣いをしないといけないかなと今思いました。はい。
0:09:52	はい、黒須です。わかりました。そうする等、
0:09:58	要望ですねもうちょっと後、誤解のないようにクリアに
0:10:03	やっていただきたくて、すべきと必要というのは似てるし説明って言葉に合ってるし、項目と事項で分けてるのかなと思ったら括弧書きの中を項目出すと。
0:10:13	ということちょっと誤解しやすい表現なんだろうなと思うんで整理をお願いします。
0:10:22	はい、宮城西田でございます。はい承知いたしました。

0:10:27	コサクです。で、このワードは後でどこでどういうふうになっていくかっていうのを説明していただけるんですか。
0:10:36	2 ウエダでございますはい。説明すべき項目は5ページ以降も、何をごめんなさい。そっちじゃなくて、後ろの方の、
0:10:53	説明が必要な事項を抱えて項目の方です。はい。
0:10:58	説明が必要な事項括弧設計項目定義も含めてやり、もう一度整理し直さなきゃなって私が言ったのはこの言葉多分後で出てこなくてですね、ここが出てくるだけなんです。
0:11:09	おそらくリンクもトリックをとっていたのは、その4行上にある設計項目括弧システム設計構造設計配置設計評価、これとリンクを取りたくて、書いていたのでちょっと私が、
0:11:23	文章書いてるうちにだんだん頭が混乱して、ゴチャツとなってしまった感があるので、そこを、先ほど定義も含めて、誤解がないように凝灰埋める形で整理をさせていただきたいというのは、そういうことでした。はい。
0:11:39	規制庁不足です。それで言うと、設計項目って言うのは、
0:11:45	具体的内容じゃなくてシステム設計構造設計配置設計っていうことだったと私は思いながら読んでたんですけど、終わってます。
0:11:53	はい。はい。やってますはい。
0:11:56	わかりました。
0:11:57	それ、あれですね1ページの下からんし、
0:12:03	6行名の徳永ミウラなところで設計項目についてはっていうところ。
0:12:12	でもこれもちょっと表現が、
0:12:15	これで定義するわけです。
0:12:23	すいません。
0:12:25	ちょっと違いそうですけどあれですね構造設計システム設計じゃなくて解析評価も含めていう。はい。こっちですね。だからあれか、資料2で分類する。
0:12:38	ものってことですね。はい。そうです。はい。
0:12:42	はい。これも
0:12:43	そうすると、今のところ、戻って4ページの丸ポツ、
0:12:50	のところわあ、何を言ってるかといった時にその項目のことを言ってるのか。
0:12:57	もっと具体のことを言ってるのかっていうとどっちですか。
0:13:00	はい。日本原燃石田でございます項目側のことを言いたかったということでございます。はい。

0:13:12	具体的なもの抜け漏れの話をしよと思うとどうしても資料3の世界に踏み込んで、同じような、まるでの解説が資料3にもないと、駄目なのかもしれませんがそちら側に玉を預ける類かなと思ってました。
0:13:28	どちらかというと資料2番の段階ではシステム設計構造設計配置設計評価といった、その設計項目を抜け漏れなく、基本設計方針から抽出してくると。
0:13:40	いうことが必要な行為だということをごうたいたかったということでございます。
0:13:46	はい、そうです。わかりました。一方で資料2のポイントになる、参与に引き継ぐところのポイントになる、設計で書いてあるんだけど表、事務、
0:13:59	マイカ設計で書いてあるんだけど評価にも関連するだとか、評価に身で書いてあるんだけど設計に関連するといったことについては、
0:14:08	どうするかっていうことと、それを踏まえてここでどこまでCAQ必要があるかっていうのを説明いただけますか。
0:14:16	はい。石田でございます。はい。お知らせいただいているの、基本設計方針の中から必要な要素を持ってくるときに、
0:14:27	評価としてエミなきやいけないポイント設計としていなきやいけないポイント、あとそのコラボリンクですね、そういったものを抜けなく持ってくるんだよと。
0:14:36	いうところは、資料2の段階でやらなきやいけないことです。実際は今、記憶なんですけど資料2の該当箇所をそれを説明をしているんですが、
0:14:50	とはいえ、今回の大枠の骨格の中で、最大のポイントにもなるので、そこを4ページのところのフクダ中にですね、
0:15:02	目的としての考え方をですね書かないといけないというふうに思いますので、そこを整理をして追加をしたいと思います。
0:15:12	はい。スタッフですわかりました。一義的にはまず方針見て設計項目分類しますと、確実にその分類にして説明が、
0:15:23	檀参与に繋がるようにしますということで、その際には、下分けるんだけど、関連するものっていうのもしっかりと、
0:15:31	資料2の中で、明確にしていきますと、いうところまではここで書きますとですね。はい。はい。二本木ニシダでございます。はい。そういうことになりますはい。
0:15:42	はい、わかりました。私からこのページまでは以上です。
0:15:47	規制庁大岡です。1ポツ概要の1段落目で、今回その対象、完全に、

0:15:54	再処理とMOXの段階と廃棄物管理施設の、
0:15:57	そこに申請に限定した、してきたんですけど、このMOXの第3回以降は、
0:16:05	どういうふうに整理されていこうとする。
0:16:08	してるんでしょうか。
0:16:11	はい、米田でございます。今後ちょっと私のケアが、ルールを自分で作っという、自分が持ってないですね。この後、詳述される内容は、
0:16:24	例えば設計説明分類とかがですねMOXの場合第2回、2限定的に書いてます。ただ、この概要の最後にですね、という考えで書いてはいるけども、
0:16:35	考え方は第3回第4回でも同じだと、同じ考え方に基づいてそれを展開しますよというくだりを書かないといけない。でかけ書くっていうルールに自分でしておきながら、かけてませんでしたはい。考え方としては同じでございます。
0:16:52	はい。政党がすっかりましたそちょっと限定的に書かれていたので、そういう次回まで含め、
0:17:00	理解しました。
0:17:01	それ以上で、
0:17:08	規制庁ヤマグチです他4ページ通し4ページまでで規制庁側からございますでしょうか。
0:17:15	はい。続いて、藤。
0:17:18	5ページ以降で再処理とMOXのアノウエキ分類とグループの説明ですね、原燃側からお願いします。
0:17:30	はい。日本へのインダでございます。はい。日報IIIになりますと2.1で累計の話が出て参ります。
0:17:41	修正対応方針の方でいきますと、これやっぱ何か今思えば番号振った上だったんで、
0:17:49	読めないで、何行目とか大飯、
0:17:55	上から、1ポツ1の上から四つめ。
0:18:00	Aの話、A、
0:18:04	累計の話在设计説明ぶりの設定をする際に、前回、やりとりをさせていただいた、本文でいきますと、いきなり共通的な考えもなく、
0:18:15	個別の話を書いていたというのもあったので考え方をちゃんと共通的な考えと、再処理、MOXで個別に考えること。

0:18:27	みたいな文章の形態を考えるとということ、あとは、再処理の方の設計説明分類、もう特別に考える要素として、共通の考え方との、
0:18:39	関係を示した上で、分類の説明をすると、いうことをかと思えます。はい。そういったことを、今までのやりとりを踏まえて、
0:18:52	2 ポツの 2.1 のところで、文章としては整理をしてございます。
0:18:58	まず 2.1 のところはまず類型をする目的に照らして 0 せえ説明分類を設定をするということで、設計説明分類を設定する上で、
0:19:11	共通的な考え方が何なのかというところを整理をして書いております。
0:19:16	そのあとまた滝でその設計説明分類を念頭に置きながらもその分類間での関連性であったり、説明すべき項目そのものの重要度、重なり合い、そういったものを考えて、
0:19:30	オカダの限り重複がないようにということで合理的な説明を達成するために説明グループを設定をするということ。
0:19:37	あと説明グループの設定の考え方の共通的なものも書いて、その上で、ちょっと右 6 ページからの(1)再処理は阿久津管理施設、
0:19:48	MOXの方が(2)ということで、右下 8 ページからということで整理をしてございます。
0:19:57	はい。一応
0:20:00	もとにある考えは、まず説明すべき項目っていうのが何かということを 5 ページのところの頭に、のポツで言っまして、
0:20:10	金融規制量の要求、追加要求追加明確化た要求事項、あと新規規制基準前から変わってないけど設備としての要求機能みたいのも含めた要求事項。
0:20:21	あとは金さんからの変更点といったものを網羅的認識をして整理した上で、それぞれ最初にMOX廃棄物から考えてどれが軸足なのかっていうのを考えて分類額を設定しましょうと。
0:20:37	いうことで整理をさせていただきました。
0:20:39	そのため、右下 6 ページが最初に廃棄物管理施設では大中の新規制基準の要求として追加明確化された事項の
0:20:50	私外的は内的なハザードに対する暴行設計ってのが、説明すべき項目のチェックだということで分類を設定をしていきますという考え方を書かせていただきます。
0:21:04	その設定した結果は 7 ページで 12 分類と
0:21:09	現状は流入です。はい。説明グループの考え方が 7 ページの下側に書いてあるということでございます。

0:21:18	一方MOXはというな考え方は変わりません。共通の考え方から、右下8ページから書いてあることは、MOXが全部の設工認がまだ認可を受けていないということを前提に、
0:21:31	新規性10年前から変更がないような要求事項も踏まえて、設備に対する要求機能等を軸に整理をしますということであっております。
0:21:44	0セキネグループの考え方が、8ページ。
0:21:47	そうした場で設定をしていると。これも結局あと訂正説明で、すべき項目の軸を置いたものの、重要度であったり、MOX燃料加工施設の中での設備の重要度というのも考えて、
0:22:03	グループは徹底していきますということでございます。
0:22:06	2.2まで行くと資料1の細かい話にも入りますんでここで1回区切った方がいいですか。
0:22:13	はい。規制庁ヤマグチ先生どこで一旦区切っていただいて、2ポツ1の中の各施設の分類とかグループの話に、
0:22:26	確認の前にまず規制庁側から5ペをページマイで、一旦ここまでで規制庁が何か確認がございませうでしょうか。
0:22:40	規制庁コサクです。
0:22:44	良い場所で区切っていただいたと思うんですけど、ここで考え方が認識共有できてないと、次の(1)(2)とかに行かないので、
0:22:56	大事なポイントだと思ってて、と言いつつ、一旦6ページの最初を見てもらうと、
0:23:04	第一段落で描いて来内的ハザードに対する防護設計を軸にしますと、
0:23:11	いうて軸にして、設計説明分類を設定しますと。
0:23:16	言ってます。で、
0:23:18	何でかっていうとその上に再処理ではこうなのでっていうような話が書いてあると。
0:23:24	いうふうに認識するんですけど。
0:23:27	それが、
0:23:29	と5ページの2ポツ1の二つ目のポツに書いてあるんだと思うんですけど、
0:23:39	これと
0:23:42	先ほど言った(1)の第一段落とが繋がるように、
0:23:47	書いてあるように読めるのは設計説明分類を設定っていうところは読めるんですけど、

0:23:53	その前に書いてある設備の特徴、説明すべき項目との関係。
0:24:01	設備等の設計としての類似性っていうところとの対応関係がいまいち読めないかなって気もしていて、
0:24:12	類似性については、6 ページの第 2 段落にも書いてあるんですけど、結局なんか曖昧な感じがしててですね、で、
0:24:21	特に設備の特徴は前、
0:24:25	数 π 前からヒアリングで話してますけど、
0:24:32	ここは、
0:24:34	少なくともヒアリングしてる対応のしてる人は認識できてはいるんですけど、
0:24:41	と対外的な設備という関係からももうちょっとわかるようにしてもらいたいなというのがあってですね。
0:24:48	どう、
0:24:51	考え、
0:24:52	そういう話も前回したと思うんですけど、どう考えてます。
0:25:03	はい、日本原燃瀬谷でございます。はい。そういう意味では、5 ページの、
0:25:10	2.1 の最初のポツで、まず説明すべき項目ってのが、大きく三つありますねと。
0:25:17	その中で、今回の設工認での非主要なパートという主要なパートって日本語も曖昧なのかもしれませんが、
0:25:27	スタイルよ。下見なきやいけ観点ってのをどこに置くかって言うのがまず、先ほどご説明した通りあるんですけどそこがうまく、二つ目のポツでは書き表せない。
0:25:41	いきなり違う姿勢が書いてあるみたいに見えて、設計説明分類を設定するという攻撃が後とアピールということで、それぞれの
0:25:52	だから(1)確認のために書いた新規性基準までに施行までに設工認が菱木認可を持ってもらってるか、そうじゃないのかっていうのも施設の特徴ではあるんですけど、
0:26:04	それは施設の特徴であって設備の特徴ではないですしその辺の、
0:26:09	ひもづけをしながら、2 ポツ目を書き換えるということかなと思ってました。はい。
0:26:18	はい。コサクです。わかりました。それで雄踏設計説明分類。

0:26:25	考え方ってもうちょっと分解してちゃんと書くっていうことが必要なのかなと思いました。で、今のその設備の特徴をいろいろと言われましたけど、審査会合の流れからいうと、ABIは別BCPIVと、
0:26:41	いうところで、説明の観点が違うなり少しずれると、
0:26:48	ずれとか力点が違うってところですかね、いうことがあってもそれを意識しながらやりますで、
0:26:57	MOXは、
0:26:59	Aが多いので、そっちを主軸にいたし、再処理はBワンなりが多いのでこうしますと。
0:27:07	いうことでいい。
0:27:09	整理いただく等、介護との関係も明確になっていいのかなと思しますので、その点で
0:27:17	言っていただけますか。
0:27:19	はい。人間のイシダでございますはいありがとうございます承知いたしました。はい。そういった視点があるという認識をしておりますので、はい。整理して書きたいと思っておりますはい。
0:27:31	はい。補足です。それで大枠よ、説明すべき項目のどこを主眼にしていくかということがあって、その上で、
0:27:42	類似性ということで固めていきますよと。
0:27:46	いうことで理解をしました。で、そうすると一を、そこをちゃんと分ける等、
0:27:56	個別に(1)(2)とかなると第一段落でその全体の
0:28:01	話でその上で類似性というところでこういう類似性を考えますよということと理解をしましたところで、ちょっと類似性の話は、(1)とかでもちょっと説明しますけど、
0:28:13	構成は理解をしました。で、
0:28:16	とちゆさかのぼっちゃって申し訳ないんですけど、
0:28:20	5ページの二つ目のポツなんですけど、これ三つって何ですか。
0:28:26	特に二つ目二つ目が、いまいちよくわかんないんですけど、
0:28:31	うん。
0:28:32	はい、日本イシダでございます。そういう意味ではおっしゃっていただいた趣旨からすると、先ほど二つ目のマルを何とか引っかけてということで、前回以前ですね審査会合でもずっとやっている。
0:28:46	A、BIbとかの分類の話、次を位置付けて書けばあまり説明すべき項目で新規基準と設備の要求機能とか分ける必要も、

0:28:59	ないのかなと思ひましてどちらかというこれは追加要求みたいの頭の従前からあってベースでやんなきゃいけないことっていうの、
0:29:09	仕分けを最初にしようかなと思ひて二つに分けましたが、規則の要求事項って意味では、二つは一つなので、その辺が
0:29:20	逆に誤解を部品に招く可能性もあるので、2 ポツ目のブレークをすることでうまく書き合わせればなと思ひました。
0:29:32	はい、規制庁補足です。
0:29:34	運転では整理いただくとして一方で説明すべき事項として大事なものは、新基準適用って意味基準で何らか変わったところ追加になったところっていうのをし、
0:29:47	割と意識をするということはあるんですけど、一方で、その他変更とかを考えるとあまり
0:29:56	それ一だけじゃなく結局条文意識整理しますよと。その上で、
0:30:04	実際の説明が必要か不要かというところでマーキングしていくということからすると、
0:30:11	あまりその点は、
0:30:15	仕分けする必要がなくて、
0:30:18	で言うゴトウになって一つ目二つ目は重なるっていうふうに思えばいいんですかね。
0:30:24	はい。荻野インダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りかと思ひますそのあたりを、二つ目の以降のポツで仕分けをしていくと。
0:30:36	いう形事項としては変わらない。あるものが基準要求だということに対して、そのステータスだったり、今回の新規制基準施行時の扱い、位置付けていうのを考えて整理していくと
0:30:49	いうのの中にそこを明示的に書けばいいのかなというふうに思ひました。
0:30:54	はい。コサクですわかりました。整理されるので、あまり突っ込んでもしようがないんですけど、もしかして、それでいうとこのポツの最初の行の新規性基準って書いてあるのは新しいものっていうこと。
0:31:09	ですから、全体基準点というんじゃなくて、はい。
0:31:14	新しいものっていうか、
0:31:16	伝わらないってことです。うん。わかりました。
0:31:21	この点はですね。
0:31:23	いつだっけ。
0:31:25	昨年同 2 委員会に何かの説明を私がしたときに、

0:31:33	新規性基準って言葉いつまで使うんだと、一応あたりに私が突っ込まれて、私に突っ込まれても困りますみたいな回答したんですけど。
0:31:43	現状我々この言葉を、そういうのん意味で限定してないので、
0:31:52	その点でも誤解を生じるというかずれが生じ得るようになってるんで
0:31:58	も、絶対ニュートラルに書いていただいたらいいかと、或いは新しいところなり変更したところっていうことに特化したいんだったらその旨明示的に書いていただいた方がいいかなと思います。
0:32:11	はい。人間のイシダでございます。はい。承知いたしました。
0:32:15	はい。コサクです。その上で今のポツの三つ目なんですけど、
0:32:20	逆にこれ細かくか、いやでもあった方がいいか。その他変更。
0:32:27	わあ、
0:32:28	うん。
0:32:30	には、結局二つ来のやつで入ってて、ニュートラルに行くとする、
0:32:37	それで、
0:32:39	拾いきれないのは何かと言うとう基準 4。
0:32:45	基準として拾い切れないけど何らか変えている。
0:32:55	非常に落ちてきてて、基準対応にはなるよねってなると、何かなと思いつつ、その他変更だったり、評価での変更点っていうのは、意識をしましょうねっていうのは、
0:33:08	ノータイスをかけたいところではありますけど並ぶのかなっていうのがちょっとよくわからなくなったんですけど、どうなりますか。はい。はい。日本原燃瀬谷でございます。まずここに書いたのは、今おっしゃっていただいている抜けないでねというつもりで、
0:33:22	開きはしたんですが、ここで並列に並べかと言われると、資料 2 の段階資料 1 の段階で示すべき事項として金からの変更点を上げようと思ってます。
0:33:34	その時に、なぜこれをあげないといけないのかってところをどうやって紐づけようかなと思って、ここに無理やり並立でつなげたのが現状でして、多分それ以外にもやり方は多分あるはずで、この説明すべき項目をブレイクしてって、どういう整理に持っていくかかってところを、
0:33:53	先ほどの 2 ポツ、どういう観点で言ってることを整理するとき、もしくはその
0:33:58	そうですねそこでやらないと出てこないんだな。その段階で、多分、考えるべき要素として上げていくときに、そういったものも考えなきゃねっていうのを、

0:34:09	挙げるか、方法はほかにもあるかなと思いますのでそこはすみません、考えさせてください。
0:34:22	はい。規制庁角です。今言われたように資料1で
0:34:27	個別の機器キーを考える時にそこでの説明ポイントを抜けなくというところがやっぱり主題なので、
0:34:36	海谷の2の方に、しっかりと書いてあればその1さえ短くなれば良いと思うんで、そうするとPIb IIみたいな話をするとき、
0:34:48	その評価方法の変更とかっていうのも見えてくると。
0:34:51	もう構造変更も多分それに入るんで、そういった視点だけしっかりと先ほどの修正の中で触れていただければ、大丈夫かなというふうに思います。
0:35:03	はい。日本原燃、石田でございます。はい、ありがとうございます。はい。私もしっかりとB案を傑作してしまったのははい。そこを書く上で、もう一度整理します。はい。
0:35:17	はい。補足です。三つ目のポツこれは
0:35:23	ここでどうこうということでもなく単純に確認なんですけど、市場分決めますということ理由を書いていたいて
0:35:34	わかるんですけど、そうすると一関連条文っていうところ分類しようとすると違うよねというけど入れ込んでいますっていうことであり、
0:35:46	そうする等、
0:35:50	もう、
0:35:51	設計説明文の説明といったときに、その内数になるような、その分類はどうしていきますかっていうことになるんですけど。
0:36:01	そこは説明グループ違うグループ側に飛ばしますということがあったり、ここでやります細分化しますだったりっていうふうになってくるのが実態だと思うんですけど。
0:36:15	その時
0:36:18	細分化するなり、細分化した上で飛ばすなりっていうようなところの、
0:36:23	考えはどこか整理できてますよ。
0:36:28	はい。日本原燃瀬谷でございます。まず、今言われた点はこの5ページの、
0:36:35	設計説明文の設定の三つ目だったり、説明グループの設定の下側のところだったり説明をしないといけないことだと思います。現状説明できるかというところについては説明が足りてないと思います頭ではそう考えながら、

0:36:51	代表云々だったり、まとめて説明できるところを、グループとしては別のところで設定したいという、説明グループの視点での説明は何となく5ページの下側で書いてはいるんですけど、
0:37:05	まだ足りてないと思いますので、その記載は、三つ目の記載であったりそれと下側の説明グループとのコラボだったりというところでの説明を書き出したいと思います。
0:37:20	はい。補足です。よろしくお願いします。その意味だと
0:37:23	前段の説明は
0:37:27	設計説明文に、
0:37:29	ですね、の中では関連条文内数になるのでそこはちゃんと内数としては説明が漏れないように
0:37:40	累計して説明をしていきますと。
0:37:43	いうことを付記していただいて、せ、
0:37:48	説明グループの方では、そのうち、
0:37:53	説明その観点での主題にするべきグループというのを整理して、ばらけているものについては
0:38:03	ウツミグループで説明するということを明確にしますみたいな、この趣旨がちょっと明確にしますみたいな。
0:38:11	うん。しかばっかりかな。
0:38:14	はい。乳井理事長でございます。はい、ありがとうございます。はい、承知いたしました。
0:38:25	補足ですが、ページは、私からは以上です。
0:38:32	ヤマグチです他5ページと四、五ページまでに規制庁側からありますでしょうか。
0:38:40	続いて、最初に管理の、
0:38:44	と分類と説明グループの内容の確認をしたいんですけども、間瀬第二グループの方は別添の17ページ以降のところも入るとちょっといろいろ細くなるので、
0:38:58	まず、6ページ、7ページ前半までの再処理管理の分類、最初の分類、設備分類まで規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:39:21	いいですか。
0:39:22	6ページ目のところ、ちょっと分類のところ、
0:39:27	緊急時対策所と生活は従前の話があるので、別分類で12番としてされたということなんですけど、ここに含まれる。

0:39:38	この野瀬つ設計説明部類に含まれる機器とかっていうのは、居住性に関する部分だけなのか、一式なのかってどちらなんでしょうか。
0:39:52	はい。右のイセでございます。はい居住性に限ったものじゃなく一式全部この中で、製油インターにかかるものは、展開をしようと思ってます。
0:40:07	規制庁のフジワラですわかりました。続けてこれまでの資料でいうと少し説明があったかもしれないんですけど、7ページ目の管理されてるところの、
0:40:19	5番の屋内の機器配管と、11番の屋内の機器配管の
0:40:25	を整理するときに、外的事象と内的事象でどういうふうに仕分けをされてるのかっていうのを説明していただけますか。
0:40:45	要望書。はい。日本原燃志田でございます。まず基本的に、先ほど書き下しがうまくできてなかったその説明がうまくなかったところの、
0:40:57	主軸をどこに置くか。
0:41:00	ということの設計の範囲sec構造設計とのリンクを踏まえて、
0:41:05	竜巻火山等々の話を含めて機器配管に要求する設計事項と、構造設計の関係を示すと。
0:41:16	結城D5 ページが5番を、屋内の機器配管がいると。
0:41:21	11番の屋内機器相川という等溢水の、
0:41:27	話であったり機能喪失高さの話であったり、
0:41:31	火災の難燃不燃だったりも含めた共通的な事項も含めて、この中で賄うと思ってました。
0:41:39	それぞれの設計が、
0:41:41	総合影響する場合は、分類を合わせてやらないと設計説明にならないと思っていながら、お互い、それほどリンクはないだろうということで、5番と11番に分けているということでございます。
0:42:04	清と野口ハラです。他のところあとお考え方とかを書き下していただければ、
0:42:13	もう少しわかるようになるかもしれないんですけど、そのオカ内の機器Φパンのところとか竜巻から防護するために建屋内に、
0:42:22	設置テーマになることによって防護できるもので、
0:42:28	ない。
0:42:31	内的事象の溢水からも守るものっていうのは、
0:42:36	構造を説明する上でっていう意味では綺麗に仕分けができるってことなんですかね。

0:42:41	設備を切るということなんですかね、分離していくかっていうののイメージがちょっと湧いてないのでお聞きしてる感じです。
0:43:03	はい。人間のインダでございますはい。私も今から説明しようと思いな がらもやっぱり難しいなと思ってしまいました。
0:43:11	防護対象等と言ってる手法に対して、
0:43:16	機器配管をそれぞれエントリーをしていると、
0:43:23	こういう落としたやつだよな。
0:43:25	多分あん時ってみんな入っててね、説明グループの説明分類のここに、 5番、
0:43:32	30Wエントリーしていいのこれ。
0:43:35	安生希愛を考コイケオクないですか。
0:43:43	相次ぐ、
0:43:45	例えば分類にならないので、趣旨にのっってこっち側に寄せますって いう話をしないと、
0:43:52	混乱するんだろうなと思うんですね。で、
0:43:56	今の藤原が言った通りオクないっていうのはどちらかという内部的事 象で説明しなきゃいけないところかほとんど外的の内容。
0:44:05	ていうのを、なことが多いので、来期云々というところ書いキーに接続す るみたいなところの話ぐらいだと思いますから、
0:44:19	そこですね、どう扱っていくかっていうのを考えていただく必要があるん だと思います。で、
0:44:30	説明としては一体で説明してもらわなきゃいけないんですけど、
0:44:37	分類として別のものでもう、その部分だけ説明しますというのでグルー プの方に、その部分だけ入れ込んでっていうことはできたと思うん。
0:44:50	屋内の対象設備は後に、5と言わずにもう、
0:44:55	11にしてしまうっていうことでもいいような気がするんですけどどうなん ですかね。
0:45:09	はい、梅田でございますおっしゃっていただいてる通り、
0:45:15	もっと資料マイ資料3連動を説明したいのかっていうのを具体化して、 整理をしていかないといけないと。
0:45:24	もう言いつつ、おっしゃっていただいたように5番レベルのはあくまでヤ タ云々で強度の話が出てきますが、屋外に異常配置設計で説明する部 分が外的がほとんどなどで、そういうことを考えると、

0:45:40	11 番の中で、全然説明はできるとは思いますので説明する時に登場する、して、何を説明したいかを条文からのジックで、十分整理ができますので、
0:45:51	はい。
0:45:53	整理を進めますはい。
0:46:02	古作です。ちょっとよくわからなかったんですけど、
0:46:06	11 番の方の設計説明分類にしたところ
0:46:12	説明グループ 1 外的事象といったときに、11 番を、この部分だけ説明しますっていうことはありだと思ってるんですけど、一旦ですけどそこまでいいですか。
0:46:24	はい、二本木でしたのすいませんはいすいませんあり、そういうやり方を目測もしてます。はい。
0:46:31	はい。コサクです。それで整理していただいたらいいんじゃないかなと思います。そうすると、その上の応募対象等の屋外
0:46:43	については、
0:46:45	10 番で堂々っていうのだけがおもむろにあるんですけど、
0:46:50	どうども、
0:46:51	3 番の構築物の一つですよ。
0:47:01	あれ。
0:47:03	はい、乳井西田でございますはい。内数です。はい。
0:47:08	なので、これも別に品でタテなくても全然説明はできると思うので。はい。整理を進めます。はい。
0:47:15	もともとあれですね。
0:47:18	どうって、屋外にイマイて外傷の話をする時は確かに入ってることでほとんどの説明が影響がない範囲になってしまうっていうところもあって、あまり説明するピンで出てくるのが、
0:47:34	なかったりもするっていうのを、大分意識して、外れてましたけどとはいえ構築物の一部だろうということは変わらないので、整理を進めますはい。
0:47:50	はい、蘇武です。とは言ってもですよ。なぜ 10 番にやってかちょっとあれですけど、地下水の漏水をどうすんだみたいな話とかは、
0:48:03	外的事象側での対応と親和性が高いんじゃないかなと思いますけど、どうなんですか。
0:48:16	はい。乳井ニシダでございます。はい。おっしゃっていただければも当然あるので、

0:48:21	そこも考慮して、どこでどう、どこでどう扱っても結局は、説明グループを設定するときに、関係するものをちゃんとピックアップして説明し、
0:48:40	内容同士が、
0:48:43	結局、
0:48:46	はい。
0:48:48	繰り返しになりますが、ありがとうございます。はい。そういったことの、説明しないといけない項目もありますので、どちらか。
0:48:59	2つというのを、分類としてどこに収めていくのがいいのかということ再度整理をしていきたいと思ってます。
0:49:13	はい、古作ですよろしくお願ひします。藤原さんすいません横槍しちゃったんで一度戻します。
0:49:23	規制庁の藤原です。若干ありがとうございます 5 番、11 番は、すっきりしたかなと思いますしそれ以外の部分でも、整理が綺麗になっていくのではないかなと思いました。
0:49:36	ここまでの部分で、
0:49:38	私から細かく聞きたかったところはとりあえず以上なんで、他、規制庁側から何か、7 ページまでですかね通しページのところであればお願いします。
0:49:52	規制庁規制庁紙。
0:49:55	どうぞ。
0:49:57	はい、赤嶺です。
0:49:59	耐震は、耐震評価設備なる分類があったんですけど今回なくなったってことですか。
0:50:18	はい。乳井西田でございます。はい。
0:50:24	今ひとつ不安なので、再度確認をさせていただきます今挙げた部分の中に挙げていたクレームを含めて意識、要求事項はかぶってる部分で説明がし切れると。
0:50:37	品で出さないといけないものはないということで整理をしている結果が今の姿だと思ってます。
0:50:44	が要求事項であったり設計として説明しなきゃいけないことを全体見た上で、もう一度、抜け漏れがないかという視点で、バスケットクローズ的なものも含めて、
0:50:56	本当に置かなくていいのかは再度確認をさせていただきます。原料は先ほど申し上げた通り、いずれかの分類で説明ができるということで、なくしてます。

0:51:09	はい、規制強化です。こうこうこういう検討をした結果いらなくなったんです。前はこう思ってたんですけど、そういう話が聞ければいいなと思ったんですけどそれが来てるのは次回ってことなんで、
0:51:23	お願いしますって言うと、あとそういうそういうことがですね、コメントリスト、対応方針の方の、
0:51:33	該当するのは多分、
0:51:36	対応方針 3 ページ目の上から 6 ぷー。
0:51:41	行目ぐらいから、へえ。
0:51:44	の対応を変えたままそして対応予定も別添 1 って飛ばしちゃってるんですけど、別添 1 を見ても、なくなっちゃっているカラーAはわからないし、
0:51:59	なので、この対応方針のところこういう考えなんでなくなったんだっていうところぐらいまでは、書いてもらおうと、ホアシないんですけど、よろしいですかね。
0:52:13	はい。乳井西田でございます。はい。失礼いたしました。はい。結果しか書いてなくて考え方がどこにもないので。はい。対応してるところをしっかりとどう考えていますか。そうです。
0:52:26	申し訳ないです。
0:52:28	この対応方針は、前回のヒアリングで、共通中に本文で対応するものは書かなくていいと私が申し上げたので、その点で不十分っていうかですね、どっちつかずなものになってしまったんだろうなと思うんですね。
0:52:44	それをまたここで書くってなっちゃうと、せっかく見えるようにしていこうと言っていた対応方針がぐちゃぐちゃにどんどんまたなっていくんで、
0:52:54	本当は私のイメージはこのハッチングしてあるものは消えてなくなった状態。
0:53:00	のものを出していただきたかったんです。一方で、今日のヒアリング過去何があってっていうのは、それはそれで
0:53:12	あってよかったというところはあるんですけど、そうであれば、それはそれでどういう対応なのかっていうことを書いた方がよかったと、いうことなんじゃないかなと思ってまして、
0:53:26	け。
0:53:27	どうしますっていうのがアノなんですけど、次のバージョンってどういうのを作っていけばいいですかねってのがちょっと心配だったので、笹川せていただきました。お考えを聞かせていただければ。

0:53:44	はい。弓削ニシダでございますはい。まず、グレーのハッチングで残されたんですけど、私が記録としてどこで対応したかを今日の時点で説明できるようにということで残して、
0:53:58	グレーハッチングされてました最終的にはこれ決して残ってるものが何なのかが明確になるようにしたいなと思ってました。
0:54:06	今回の件は、
0:54:11	本宮であつたりも含めて設計説明の設定としての考え方として、結果に至ったプロセス先ほど藤岡さんのご指摘じゃないですけど、
0:54:23	その結果に至ったプロセスとして考慮した特別な事項っていう特殊な事例事項があるのであれば、そこをしっかりと書いていくことの例示として、
0:54:33	先ほどの
0:54:37	分類の徹底的のいろんな考慮事項としてちゃんと書くんだと、いうことを示したコメント。
0:54:45	として認識をした上で、どう対応するかを、対応方針として、新しい項目を起こすということでどうかだと思いましたがいかがでしょうか。
0:54:58	規制直属です。今日こういう話もしてることで、新たに書き起こすということで、了解しました。阿部さんどうぞ。
0:55:10	はい。衛藤カミデです。
0:55:13	そうですね。コメントリストに何でも書いてっていう対応方針なんでも書いてってことではないんで、大丈夫だと思いますで、今の耐震の話でいうと、多分、
0:55:24	6 ページ側に考え方を多分書けるんじゃないかなっていう気がしていて、
0:55:33	基本屋外は竜巻ですないときはこうやって見ていきますで、
0:55:39	その他全般に係るものとして耐震要求っていうのはあるんですけどそれはこういうことから上記に全部生まれて説明できるんだと、今まさにその
0:55:51	石原さんが今度説明すると言っていたことを書き下していけば私の今の話に対しては、本文のところで反映ができて宿題にもわざわざ残す必要はないと。
0:56:05	ということなんじゃないかなと思いましたがどうかですか。
0:56:09	はい。イノウエニシダでございます。はい、ありがとうございます。そういった本文での、書くべきことっていうのをどう書き表していくかの方針を、

0:56:20	対応方針を示していくということでおっしゃっていただいたように実行で立てた部分の中で関連条文としての設計で事務をができる、抜け漏れなくそこに吸収できるということが、
0:56:33	説明方針として立てて展開をしていくということだと思ってますので、整理させていただき、
0:56:41	はい、規制庁カミデ私からは一応、
0:56:45	規制庁コサクです。今の関係から言うと、改めて見て思うことなんですけど、
0:56:51	外的事象って言ったら地震も津波も含みますよねと。
0:56:56	いうのはいかがでしょう。
0:57:00	はい。日本原燃石田でございます。おっしゃる通りです。
0:57:03	自分で言いながらもそうですね外的ハザードでチームフタミも入りました。はい。そういったところのことばかりも含めて、あと丁寧に外的一発であっていいんですけど、
0:57:16	そのうち、地震津波は
0:57:21	説明金から、もともと抜けていくからあれなんですけど、地震についてとそれ以外の外的事象ではそもそもその外殻で守ろうということとそう。
0:57:32	では地震だけは進まなくて、
0:57:36	別にして地震以外の対応について、特に先ほどの話からすると、屋外設備ということを中心に、
0:57:48	説明分類にしますと、
0:57:50	はい。
0:57:51	ということで、屋内については内的事象対策が中心になるので、そちらで分類することで、
0:58:02	耐震については屋外も屋内も両方絡むので、その分類の中でそういう項目を順次説明していきますっていうことになるのかなと思いますけど。
0:58:14	はい、峰瀬谷でございます。はい、ありがとうございますはい。そうだと思いますはい。
0:58:22	はい。補足です。はい。です。
0:58:27	例でいうと、6 ページのところの記述は大分その前半側が変わってくるんだろうなと思ってまして、先ほど後で言いますけどと言ったのも、
0:58:39	第一段落のそのハザードが主軸っていうのは、確かにその通りと思いつつも、その種時空のやつを具体をどうしていくのっていうの今の考えが、根本にあるのかなと。
0:58:52	思っていて、

0:58:55	そういったことがおそらく第2段落の類似性ってということになるんじゃないのかなと思っ
0:59:01	てるんですけど。
0:59:03	昆院長の記載ぶりだとこの第2段落は単なる前ふりで、次の段落から順次類似性お話をしているというふうに書いているんだろうなと思いつつ、
0:59:16	あまりそういう類似性ってことが見えないんですけど。
0:59:24	そういうのも含めてわかるように書いていただけますかっていうことで、はい。マネージャーでございます。はい。それしなきゃいけないっていう類似性っていうのを聞いてリード文で、
0:59:37	かえってその下で具体で展開していくつもりで書き始めはしたものの、ル井清が途中で消えて、何だかよくわからなくなってるって感じだと思うので頭の方から書き直しますので、
0:59:51	丁寧にそういったことを紐付けながら、
0:59:54	どういう分類なのかがわかるように展開をさせていただきますはい。
1:00:02	はい、古作です。その上でなんですけど、
1:00:05	建屋構築物と機器配管に何で分けるんだっていうことを、
1:00:13	2なんですけど、
1:00:17	外的ハザードに対する対応は一連でやらなきゃいけないくて、単品で分類分けてもしょうがないんじゃないみたいなことはあったと思うんですけど相変わらず分けようとしている心は何でしょう。
1:00:38	はい、乳井西山でございますはい。まずそうですねおっしゃっていた自分として、
1:00:47	一体となって設計が成立するものもあるので、それも含めると分けるとお話が
1:00:55	説明が、単品単品に切り分けられてしまうということもあると。
1:00:59	いうのも、おっしゃっていただいと今以前お話をさせていただいたと思います。これはそこでかなり表カーの話を考えて、
1:01:11	認識が偏ってしまった気がするの、実際竜巻とか評価の時には、建物構築物チームと機器配管チームみたいなわけで、やっていたり、
1:01:22	火山もしかりといったことを大分意識してしまった結果いきなりボンと二つに分けているので、ここは設計としての説明っていう立ち位置にまず立った上で、どういう説明をしないといけないのか。
1:01:36	いうのを置いて、じゃあどうするのという答えに持っていくと。
1:01:43	ということかと思えますのでいま一度そこも整理をしたいと思います。はい。

1:01:53	はい。補足です。よろしくお願いします。
1:01:58	根井。
1:02:00	一方で、MOX等に比べるとMOXIは
1:02:06	機能要求を中心に書いているということから、結構施設の全体像がよく見える。
1:02:14	ブー
1:02:16	表になっていて一方で、再処理はハザードで寄せているということから、今の機器配管。
1:02:23	建物構築物みたいな、
1:02:26	起ころうぐらいで無アノものが見えるっていう。
1:02:30	感じのところがあってですね、最低限これぐらいっていう、
1:02:34	思いも出てきちゃったのかなと思うんですけど。
1:02:39	そこは割り切りかなあと考えて先ほどの
1:02:45	関連条文については内数でっていうところで割り切るんだとしたらその割り切りの中身になるんじゃないですかと。
1:02:52	いう気がするので数検討いただければと思います。
1:02:59	はい、宮城西田でございます。はい、ありがとうございます。弁当を出ます。はい。
1:03:06	はい。補足です。割り切って言いましたけど、5 ページで、そのの視点を変えていただくということなので、6 ページでもうそういうところからこの内数で大事なところっていうので耐震の話だったり、
1:03:20	ポイントポイントを置いといていただいたらいいのかなと。
1:03:27	大丈夫ですかね。いえ、大丈夫です。はい。大丈夫ですけどそうしないと駄目。はい。
1:03:36	はい、わかりました。で、これも絶海までも言ってますけど、対策設備と対象設備だって同じようなところがあって、
1:03:47	はい、防護対象棟の中に、建物があると。
1:03:52	いうこと等、対策設備って何が違うんだ。特に防護盤とっていう、
1:03:58	ことからするとあまり変わらないんですよ。で、分類分けたところで結局説明グループは一緒に関連性持って説明していくってことになる。
1:04:09	ていうことだとは思いますが、一応そういう認識でいればいいんですかね。はい。ありがとうございます。はい。人間入社でございます。はい。
1:04:17	片倉にこの分類を、

1:04:20	をされるので、正直竜巻で今整理してもらってることをやるとですね、一緒じゃんっていう答えになるなど思いながら、はい最後、そっちの方向に持っていければなど思っていましたはい。
1:04:37	はい。補足です。わかりました。
1:04:41	対策設備で、かつ、
1:04:44	今回の建造物の中心的メインとなるような飛来物防護ネットと防護盤っていうのはどうしても、機能としてはある程度一緒であってもものとしては、
1:04:57	大きく違うようなことがあって、
1:05:00	分類も分けてちゃんとしないとねっていうことで考えてるんだとすると、建物もう分類としては別枠になりと、
1:05:10	ならざるをえなくて、その時にどういうのっていった時にこうなるっていうことだと思いますので、分けつつも、相互の関係性っていうのを一体で説明するようにしていただければと思います。
1:05:24	はい、日本インダでございます。はい。承知いたしました。結局、構造強度で持たせませすっていう答えを出そうとした時には、建物だろうと。
1:05:34	ネットだろうと、5番等とあまり言うことはあまり変わらなくて形状は多少違いますけど、あとは、防護ネット、防護盤として特別に考慮しなきゃいけない事項を説明するときはどうするかは、
1:05:48	小分類を改定もしくは代表設定するとき、そういうものが個別にいますよねみたいなこと書いたりいろんなやり方でもできると思うので、
1:05:58	分類として設定する意味をどこまで考えているかと、いうことをしっかりと軸を考え、動いて整理を進めたいと思います。はい。
1:06:14	はい。雄です。よろしくお願ひしますそういったところが読み解ける6ページの記述に修正されるということだと思いますのでよろしくお願ひします。
1:06:25	それで、
1:06:28	確認なのですが、先ほど居住性の関係からフジワラから聞いて、というか制御室緊対ということで、居住性の観点からということ久慈派から聞いて、
1:06:41	そうする等、第1保管第2保管高っていうのは、居住性云々ではないので、ここには入らず、
1:06:54	外的の方に入るか内的の方に入りますか。
1:06:58	外的か瞬間的に初めて具体的な建物が外敵中にありますはい。
1:07:08	規制庁幸田です。わかりました。で、保管庫の中に入る可搬設備は、

1:07:15	内的、
1:07:17	防護対象ですか。
1:07:19	はい。りゅうぎんの江田でございますはい。おっしゃっていただいた通りでございます。
1:07:26	古作です。わかりました。一応、
1:07:29	そうですね先ほどの話からするとそうなり行ってそうすると一配置設計ってところで建物の設計にもなるし
1:07:39	物のオク設計にもなるしというところでは、
1:07:43	あるんですけど、
1:07:49	そこはあれですかね具体は、
1:07:52	3で説明する際2具体は中身っていうかね、については11の中で説明し、の時に説明します。
1:08:03	一応こうして参りますけどっていう。
1:08:06	ことで進めるんですかね。
1:08:08	はい。人間ニシノでございますはい。建物として配置上の考慮として何か考えなきゃいけないことがあれば建物側で書きますが、結局屋嘉比の話を、
1:08:20	具体の話は11番に来るとのことかと思ってました。
1:08:29	はい。わかりました。で、ちょっと先走った感じになりますけど、わかりやすい、どんどん奥側に行くと、さらに尾駮沼に行ってその先のっていうそののり面についてはどう整理されました。
1:08:49	はい。日本原燃志田でございます。はい。無理やり感は否めないですが今、外的防護対象と屋外の建物構築物の中に入れようと思っておりました。
1:09:02	はい。
1:09:07	規制庁コサクです。わかりましたそうですね。
1:09:13	ええ。
1:09:14	法面の場合は、先ほど外的で地震除くと言いながら地震なんですけど、枠としては僕は一番無難だと思うので、
1:09:25	そこら辺が
1:09:27	読めるようにしといてもらったらいいかと思います。
1:09:34	衛藤。
1:09:36	さらにちょっと詳細になって申し訳ないですけど、こう入れておいたらいいと思いますと言いつつ、法面自体は、仕様表、
1:09:46	ではなくなんですけど、

1:09:49	設備リストにも入ってないですね。
1:09:53	入ってるんですけど。
1:09:55	そっか。
1:09:57	はい。乳井ニシダでございます縦軸の項目には入っていません。
1:10:07	唯一、その法面とか何か敵対するホイールローダーくるところが縦軸に入っている。
1:10:14	ですかね、あとは秘訣共通で書いて、
1:10:18	いけない。
1:10:19	はい。
1:10:20	しても設備等で、殊 36 条で、アクセスルートの話できるから、どっかで拾わないときに、屋外、
1:10:29	浅香です。そうそう。それは拾ってください。うん。でも営業って書いておかしいんだよ。
1:10:36	おい。
1:10:37	要求事項が書く人の主語がいるんだよね。その人が入ってないのおかしい。
1:10:43	すいませんでしたはい。
1:10:47	はい。補足です拾わないとおかしくて、それによってちゃんと説明事項漏らさないようにっていうことなんですけど。
1:10:55	その時 2、
1:10:57	資料ちょっとこれも先走って申し訳ないですけど、資料 1 のときに、方針っていう枠をやっぱり設けるということになるんです。
1:11:07	はい、日本イシダでございます原料施設、共通設計方針の枠はありながら、1 ネット話が飛ぶかもしれませんが、
1:11:20	よ、41 ページですね、資料でいくと、
1:11:26	この施設共通基本設計方針に終わっているものを全部分解して、それに関係する設計説明分類を割り当てて、
1:11:36	というリストを、資料 1 の後ろにつけようと思ってました。
1:11:43	それで、施設共通と言いながら、どの設計説明分類に入っている設備それが適用されるのかというのがブレイクされてこれぬが、
1:11:54	もともと施設共通基本設計方針だからといって、資料 2 でバーになってたところが、
1:12:01	具体的な設計説明分類と紐づいて設計項目に展開されると、ということが 47 ページですかね。
1:12:14	いうことをやろうと思ってます。

1:12:23	古作です。わかりましたため明確に整理いただいたので、これで法面がちゃんとわかるっていうかアクセスルート云々とかでもいいんですけど、
1:12:35	はい、対応よろしくお願ひします。で、そちらの方でそうなるのであればこっち、そのことですね、6ページのところでも、そういったところも含めての、
1:12:48	整理をしていたということがわかるようにもできるんじゃないかなと思いますのでよろしくお願ひします。
1:12:57	はい。乳井委員の伊勢でございます。承知いたしました。
1:13:10	規制庁山口です。他の6ページと7ページで反応、設計説明分類まで規制庁は確認でございますでしょうか。
1:13:22	よろしければ、それで最初に説明書じゃあ、うん。
1:13:27	ない1点聞き忘れたのでMOXと再処理で共用するものってどう整理されることになったのかって、どこが書いてありましたっけ。
1:13:45	はい。日本原燃石田でございます。
1:13:49	加工加工という記憶はあったんですけど、書いた記憶がない。
1:13:55	受けてない。
1:13:56	思います。マイクから観劇規制庁コサク率。
1:14:03	私も5ページのところ最初のポツの説明すべき報告っていうところの議論の時に何か言い足りないなあと思いながら、
1:14:13	話をしてたんですけど、まさにそういった、何ですかね、施設単位だけの整理では、足りない説明内容ということで、
1:14:24	まずあり得必要があるのかなあと思います。で、
1:14:30	6ページに、
1:14:33	いく等、それによってその分類が変わるかっていうとそうでもないと思うので、
1:14:39	こちらの方では、その旨がわかればいいかなと思います。
1:14:47	はい。与儀西田でございます。おっしゃる通りで、そのケアをしないとこれを、もともとは高校も含めたひも付で、
1:14:59	資料1とか2明確にしなきゃいけない項目として、
1:15:04	共通の共用設備の話を書くを書こうと思いながら、最初が抜けた時に抜けましたっていう、おっきな気がしますので、はい。ちゃんと展開します。はい。
1:15:21	古作です。今言って、思い出して作ってですけど先ほどのうち関連条文で内数ということで、

1:15:31	ですけど、6 ページのところ、重大事故の話が余りにも見えにくい第 2 段落に書いてあるんですけど、
1:15:47	もう少し具体のところでもうどういうところが入ってきてっていうことをわかるようにしていただいた方がいいかなあとと思います。
1:15:56	思う。
1:15:58	たんですけど、
1:16:02	SAの火災防護はあれですよ 789 の火災防護の、9 はないのかもしれないですけど、火災防護に入れるんですけど、
1:16:12	はい。日本原燃志田でございます。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。
1:16:18	はい。それぞれ、そこら辺明確にしといてもらったらと思います。
1:16:25	はい。ありがとうございます日本円イシダでございます承知いたしました。
1:16:33	規制庁コサクです。
1:16:38	7 ページの一番下の説明グループの設定の考えて、
1:16:44	いうのは、
1:16:46	はい。
1:16:48	でありつつ、よくわからないんですけど、
1:16:52	別添のコイケば、
1:16:55	後になって、
1:16:58	示されるので、わかっておくんですけど、ここは何。
1:17:04	もうちょっと何とかありませんかっていう気がするんですけど。
1:17:12	はい。乳井の石田でございます。はい。正直すみません、近づきました。協議会の考え方も含めて書きます。はい。
1:17:24	はい。規制庁コサクですよろしくお願いします。でですね、これも先ほど言ったところになるんですけどグループと 1 とグループ 2 って本当にちゃんと分けられるのっていうのがすごい心配なんですよ。
1:17:40	建屋がグループにいっちゃうってことなんですよ。とすると、
1:17:46	困るんですけど大丈夫ですか。
1:17:49	少なくともそんなもんなんか、どこまでをグループで説明しますとかって言ってくれないとっていうことなんですけど。
1:18:02	はい。乳井の伊田でございます。はい。まず、抗体から申し上げますと、分けられないと私は思ってます。

1:18:12	説明できないはずで、先ほどあった竜巻の整理をやると、読者その答えも多分見えると思っていて、こんなの引き離せ説明できるわけないでしょっていう。
1:18:24	ことになるのかなと思っているところもあるので、
1:18:28	かなりのボリュームになりますが、とはいえ、全体としての設計方針に抜け漏れなく、かつ、代表も含めた、類似性の整理っていうのが、やろうと思えば、
1:18:39	内的事象防護対象と対策設備を一緒にするときの説明のように、合わせ技にしないと説明できないはずなので、そこはそういう趣旨を含めて、整理をさせていただきます。はい。
1:18:57	はい。コサクです。
1:18:59	フォーリン下へ。
1:19:03	T
1:19:04	あ、そう。
1:19:06	それで
1:19:10	グループ、
1:19:15	何4てしてるのが、
1:19:18	説明だと順ん順次としかなくて、意味不明なんですよね。
1:19:27	ええ。
1:19:31	今のグループ1ニワまとめるにせよ
1:19:35	外的事象についての対応状況の説明だと。
1:19:39	ということで、その次、
1:19:42	に何をやるかっていうと、
1:19:48	後ろの方の、
1:19:50	ここに入り込んでちゃってて申し訳ないですけど、溢水っていうことはいんですよね。
1:19:56	はい。弓削イシダでございますはい。溢水、内的事象の発生とかを対処しよう。
1:20:03	これ残っていない。
1:20:07	グループ四、五、
1:20:10	ていうかその一斉の次はって言ったときにもうまとめるんですかっていうところで、あれ、SAはどうなったのっていう。
1:20:19	ことなんですけどSEも結構それなりに時間をかけて説明いただかないといけないような気がしてですね。

1:20:25	現地確認でも問題点があって早めに潰しこまなくて大丈夫なのって思うんですけど、真面目に考えてます。
1:20:39	先ほどの話だと、
1:20:42	内的、
1:20:43	防護対象等を行い、
1:20:46	に入るので、
1:20:49	井清のところで一緒に説明する内数としてSAのやつを順々に説明するっていうことでは止めに出しますってことかな。
1:20:59	はい。与儀ニシダでございますはい。今、
1:21:05	ホワイエ、もともとディー・ディー・エスへの
1:21:12	通行みたいなものをマークシートカー竜巻のタスクで整理をしてもらってますので、そういうことを言ってますが、
1:21:21	そういったことについてはグループ、1ニワジョイントする指導であったりさんであったりで、投票しますがいわゆる、
1:21:29	正としての機能設計みたいなものはですね、当然個別にやらなきゃいけないことはあるはずで、そこが今グループ4に全部放り込まれて立つ、Bの残り。
1:21:42	前言ってるよりもグレードが下がるものもセットになってるので、こんな説明は多分できるはずがないところも含めて、もう少し真面目に整理をしますちょっと余りにも全部詰め込み過ぎな部分が、
1:22:01	ありますので、はい。
1:22:05	はい。補足です。わかりました。7ページで項目11としてまとめるにせよ内数として、
1:22:15	細分化をしつつ、その細分化したところの機能説明っていうのは、別説明グループに飛ばすと。
1:22:24	いうことで考えているということなのは理解をしつつ、じゃあそれいつやるの。それで全体工程、いいの。
1:22:33	いうことをよく考えて対応いただきたいと思います。
1:22:38	今、その意味で、最後詰め込んでますけど、SAが入ったり、
1:22:46	物分類を起こした緊対所制御室があったり、
1:22:50	火災防護があったりとかとても一つのグループとは思えないので、
1:22:54	そこもちゃんと理解して、明確にしてってください。
1:23:03	はい。乳井ニシウラでございます。はい。
1:23:06	協力いたしました。
1:23:14	すべてオオオカです。今野。

1:23:17	古作調査官とのやりとりの話は、今日何か、
1:23:22	次回会合以降の、
1:23:25	会合も踏まえて、どういうふうに説明していくかというのを、
1:23:29	整理して回答しますというふうに、
1:23:33	以前伺った記憶があるんですが、
1:23:36	結局はまだちょっと整理中ということですか。
1:23:46	はい。弓削ニシダでございますはい。
1:23:49	そうですね先ほどの説明グループ 12 が本当に分けられるんですかっていうところもすでに竜巻のタスクでの整理であったり、も含めてそれぞれのコラボの関係もあるので、
1:24:04	はい、これからどう進めてそういったことを示していけるかというのは、整理を引き続きさせていただきます現時点ではまだ答えは出ないかなと。
1:24:14	思いますので継続宿題として認識をしながら作業を進めます。はい。はい、衛藤です。よろしくお願いします。とりあえず、
1:24:30	規制庁ヤマグチですとほか、18 ページ以降の詳細に入る前に、
1:24:39	オノ南波ページまでで規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:24:44	もうよろしければ後ちょっと説明グループの具体が 18 ページから別添で入ってると思うんですけども、
1:24:53	58 ページから 29 ページまでの最初の説明グループに関して、角谷規制庁側から確認ございましたらお願いします。
1:25:09	規制庁山口です。
1:25:12	あります。どうぞ。
1:25:15	ちょっと私 19 ページ、グループ 2 の方に飛んでしまうんですけども英 1 で何かあれば大丈夫。
1:25:23	2、
1:25:25	いや、コサクです。私個別というよりわあ、結局さっきのおトクマルとガラポンになるから、どこまでやりますかねみたいな話だってあったんですけど。
1:25:36	一方で、その内数的なところでいうと、正常分が後ろの方に飛ばされてるってことだけど大丈夫ですかっていうことだったりっていう、
1:25:45	ようなところになるんで、
1:25:49	これは反映していただけると思いますので個別というところで、山口さんから言っていていただいて結構かと思います。

1:25:57	はい。前兆ヤマグチです。今おっしゃっていただいたようにいろいろ全体整理されると思うんですけども、
1:26:05	ちょっと19ページの溢水に関してちょっと確認したくて、今その19ページのグループには外的な防護対象で、
1:26:16	屋外の建物構築物ということでここにそこ、ここに含まれる主な対象設備として、
1:26:23	建屋構築物で括弧で屋内アクセスルートを含むってことが書かれてると思うんですけども、それもあって、本説明グループで説明を行う関連条文として、
1:26:37	12条13条の溢水薬品関係で、ここに
1:26:43	もう5区画。
1:26:45	いや、経路の設定後アクセス通路がアクセスルートの確保っていうのを、このグループで説明するとして書かれてるんですけど、この9名の、建屋内の区画の設定とかアクセスルートとかは、
1:27:01	屋内の防護対象との関係とかもあると思うんですけども、
1:27:07	この屋内の区画の設定経路の設定とかもこのグループ2の説明で、その中で説明を行うっていうそういう整理にされたんでしょうか、ちょっと考え方を。
1:27:18	詰めください。
1:27:20	はい、日本インダでございます先ほどアノコサク調査官とのやりとりで、建物を冷徹別て希望対象のハイジなんかどうすんだと。
1:27:30	いう話で私がお説明したのと、ここで書いていることがそうママが全く違うことが書いているので、先ほどお説明した建物ではここは一条の建物側で何らか考慮しなきゃいけないものみたいなものは、各C、
1:27:46	D実際のものの物の配置設計みたいなものは、内的側で屋内の月配管と書いてあるものの中で説明をします。
1:27:56	いう整理だと思ってますので、見直しが必要だと思いますはい。
1:28:03	はい。規制庁、山口です。わかりました。あとちょっと関連してなんですけども、ちょっと溢水薬品関係の屋外での防護設計っていうことで確認したくて、
1:28:16	もう溢水薬品は基本的にはその屋外には防護対策設備、
1:28:22	ていう、屋外の防護対象に対しては対策設備っていうものは基本的にはなくて、その防護対象に対しては、イセっていうもの、防滴機能だったり高さとかそういった説明だけになる。
1:28:37	でしょうか。宇井というのも

1:28:40	19 ページの左下の四角の上から二つ目のポツで、最後は
1:28:48	対策設備と論文大賞合わせて説明した方が合理的になるため別の説明グループで合わせて説明するってなってるので、
1:28:57	排水のほうはどうなるのかなっていうことでちょっと確認したいんですけどもどうなのかなっていうことでちょっと1点ですけど、いかがでしょうか。
1:29:08	はい。日本イシダでございます。現状、屋外の
1:29:15	設備に対してS以上の対策設備を何らかを設けるということは設定をしてません。あくまで自分自身で耐えるということ。機能喪失高さも含めて設定をするということで、
1:29:29	経営してますがそういったことも含めてどこで何を説明するかっていうのをもっと明確に、大瀬オノ中で、謳っておかないと、また抜け漏れにもなる可能性もあるので、させていただきます。
1:29:47	はい。規制庁山口です。お願いします。溢水の方の、
1:29:52	そのグループ3で対策設備っていうのはそこで説明があると思うんですけど屋外に対しても何か関連がある打ち合わせでの説明にある。
1:30:03	いや、にした方がご合意合理的にはなると思うので、
1:30:07	罨に説明が必要かっていうところで整理いただければと思うのでお願いします。
1:30:17	はい、上西矢田でございます承知いたしました。
1:30:23	規制庁山口です。とりあえず1隻について私からは、
1:30:29	もう2ステップのね。はい。
1:30:32	攻めグループに関して規制庁側から個別で確認あればお願いします。
1:30:40	規制庁の藤原です。えっと、この表のつくり方でちょっと見方がわからないというか、
1:30:48	確認したいんですけど、例えば今19ページを映していただいているんですけど、
1:30:55	おらな対象設備や、
1:30:58	今後これまでの話でいろいろガラポンにはなるとは言いつつも、親な会社説明のところで、何か大きく三つぐらいのグループに分かれてるように見えて、それとともに、
1:31:09	通常分を、そのグルーピングがされてて、なんですけど。
1:31:13	その後囊関連将軍がプチ抜きで、
1:31:17	書かれてるんですけど、これは前にこれてる、その三つの、
1:31:23	せるせるというか、

1:31:25	バツに対して全部共通で、
1:31:28	この関連条文ってということなんですか。
1:31:36	はい。与儀ニシダでございます。はい。これもさぼってしまってパターンだと思っておりますので、三つ目共通ではありません。ここに関係関連条文があるので、それをリンクを、
1:31:48	それぞれちゃんとばっかりします。はい。
1:31:53	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
1:31:57	あとおそらく条文になるもので、グルーピングをされているような気はするんですけど。
1:32:06	後、なんか違う関連条文を、その時に整理していただければ大丈夫かなと思いつつも、
1:32:13	とりあえず 20 ページなんかは、
1:32:18	いただければ、K-イデモニタリングポストとか、放射能観測車搭載機器とかってところが、21 条、49 条で、
1:32:31	関連する条文が地上部になってるんですけど、
1:32:34	この主条文をこれとする考え方って最初の考え方にはざっくりと書いてあるんですけど、こうなると鬼頭、これってSAでも使うと思うんですけど、36 条とすると、上のようになりますね、8 条 36 条になるのか。
1:32:51	そういうふうになるときの仕分けってどういう考え方に基づくんでしょうか。
1:33:02	はい。宮城志田でございます。はい。これも整理を進める必要があるもので、形も多少変わるとは思いますが、
1:33:14	現状は 8 条 36 条に、という紐付けをしているところ、特に八条とかと紐付けしてるところは、
1:33:24	機能要求的等の要求事項は変わってなくてハザード的に対するハザードに対する防護設計として要求事項が課されてるものっていうのを、ある種グルーピングして今、上の方に書いている。
1:33:37	21 の 49 条上の要件もかかるんですけども、みずからの要求が、何らか、特別に来ているものがある場合に、こういう仕分けをして書いてます。
1:33:51	ただこの書き方をしてしまうと、8 条とかの要求は医師 2 段落目にかからないみたいに見るのもまた話はおかしくて、みんな同じようにかかるので、そこがまず誤解がないように整理をする必要があると。
1:34:05	思いますということで、整理はまだ、必要な部分は状態だと思っております。はい。

1:34:15	規制庁の藤村です。わかりましたじゃガラポンに塗るってということもあるので、その際に綺麗にさせていただけたらと思います。すみません1ページ戻って、
1:34:26	19ページのところで、先ほど話題になっていた部分になるのかなと思うんですけど、植野水井、あと三つに分かれている主な対象設備の
1:34:38	ところの上の水色が濃い部分の下から2番目の屋外アクセスルートって書いてあるのは先ほどの話にあった法面とかのことを言いたいんですかね、ただその後ろにオイルローダーとまで書かれててちょっと、
1:34:52	何を。
1:34:53	たかったのかがわからなかったので、教えてください。
1:35:04	はい、米田でございますはい。まず、ここで帰っていた趣旨が、
1:35:12	間違っていると思いながらも海田主査の考え方だけ書き、言います。屋外のアクセスルートは、という対象として考慮しなきゃいけないもの、ものとして挙げてます。
1:35:24	それが、先ほどコサクサトウの話でもあった通り、吟醸申請対象設備ベースと資料1だったり、添付でついている申請対象設備数を縦軸にないので、
1:35:35	関連する縦軸に載っているものとしてホイールローダーを変えているということです。
1:35:43	規制庁の藤原です。
1:35:45	はい。そんな感じかなと思いましたが、わかりました。全体的に設置する中でどういうふうに記載するかとかどう整理していくかといったところを検討していただけたらと思います。
1:35:55	以上です。
1:36:02	成長課です。衛藤。
1:36:05	8条の外部火災関係がちょっと気になっていて例えばグループ1で、
1:36:13	竜巻防護ネット、
1:36:18	対価と不胎化塗装を説明しますというふうになっていてあともいろいろ書いてはいるんですが、
1:36:25	航空機墜落かさしか着目されていないような印象があってですね他の石油備蓄基地火災とか森林火災に対する、
1:36:34	対応というのもあるとは思いますがそういうのの考え方を、
1:36:38	少し我慢してください。
1:36:53	はい、日本原燃賞でございますすみません今岡さんが言われているポイントが、

1:37:00	外、外かで、説明グループ1で、耐火塗装とあって、グループ1-1を代表して整理と言っている時点で、
1:37:11	おそらく、
1:37:12	航空機墜落火災で代表格になるネットとかで説明をするんだと、いうふうに思っているような節があるけども、ほかにも代表考える上で考慮しなきゃいけないものってあるから、
1:37:26	これが必ずしも代表にエントリーされるわけではないんじゃないかということ言われて、
1:37:30	規制庁からです。ほぼほぼそうなんですけど、その代表の考え方という面で、
1:37:37	今航空機墜落火災を防護ネットで説明するということだけ、あと建屋のところでは、その構図
1:37:45	航空機ず六ヶ所に対する体制だけで、
1:37:48	説明しようとしてるんじゃないかと。
1:37:50	いう思われるような整理になってるとのことなんですけど、
1:38:03	古作です。大川さん、それ何でオオオカさんがそういうふうに思ったのかっていうことを説明したりとか、
1:38:11	他の関係でこれはどうなってるんですかってもうちょっとブレークしてあげたほうがいいかな。一応加賀です。まず、森林火災とか石油備蓄基地火災に対しても、理科、
1:38:24	ちゃんとか。
1:38:27	火災強度から離隔距離を
1:38:29	もってっていうような設計を代表でどこかで示すんじゃないかと、第1回のときに整理していましたが、そういったところがまず見えてきてないっていう。
1:38:40	ところなんですけどそこはいかがです。
1:38:47	はい、与儀西尾でございます。はい。
1:38:52	19ページの御説明グループで説明を行う関連条文の中に、真ん中より上の方に外貨とあって、
1:39:04	構造強度設計と書いてある建物構築物、
1:39:10	ここデータ分すべてを読ませようと、あとは次の屋外の機器ですね、次のページの、
1:39:18	どこでも、遮熱板があつたり構造強度設計があつたりとかというところで、他の設計要求に対する考慮と、

1:39:27	いうことを説明しようというのが、今の現状の整理だという、思っております。
1:39:33	ただこれ、説明し切れてるかどうかは今の大庭さんのご指摘も踏まえて、再度整理をさせていただきます。はい。はい。室長からです。
1:39:45	書いてあることはわかって言われて、そこに入るのかもしれないんですが、その辺がちょっと明確になるように、
1:39:55	よろしくお願いします。
1:39:57	パッと、もう1点、
1:40:01	ちょっとずっと気になっていることがありますてグループ1、18ページ目の、
1:40:06	飛来物防護版の方、項目の2、2の方で、
1:40:10	落雷が入ってなくて以前から、集配1棟の下の方に金属をたくさんつけて、主排気塔の
1:40:21	直営嫌いを
1:40:23	ちゃんと
1:40:25	設置局の方に促すように設計する思想っていうのは、どういうふうになりましたかというのを聞いていて回答はまだ聞いてなかったんですけど、結局その辺ってどうなりましたでしょうか。
1:40:49	少々お待ちください。
1:41:21	はい。峯世良でございます。あれですよ社会鬼頭に落ちたらぐらいの影響が防護盤。
1:41:31	今日、構造採用方針から5番に影響しないのかっていうどこまでどういう伝播していきますかってやりとりをしていたと記憶をされていて、
1:41:42	最終的には必要な箇所ちゃんと設置もつなげて、どのルートでもちゃんと地下に、後、地下っていうか地面側に、役割の影響が
1:41:55	拡散されるように設計してますっていうのが設計だった気がするんですけど、具体はちょっと確認して、そのタイミングで説明できるようにさせていただきます。はい。光岡さんそれでした。はい。問題ないかと思いますので、よろしくお願いします。以上です。
1:42:19	古作です。
1:42:22	今のフジワラと下の、
1:42:25	きつから、
1:42:27	ちょっと補足というかプラス気になったところなんですけど、
1:42:32	先ほど外部火災の関係だ等、防護の防火隊

1:42:41	との関係も出てくると思うんですけど防火隊はどういう扱いになってんですか。
1:42:50	はい。日本原燃瀬谷でございます。棒型イワマ確か先ほど別府参考資料を使いながら話をした施設共通の基本的方針にもともと分類をされているので、
1:43:03	屋外の設計説明文のいずれかに預けて展開するように抜けがないようにしていくというケアが必要だというものだと思ってました。
1:43:16	はい。補足です。それが入ってその説明をとればおのずと、先ほど言ったようなところの対応も見えてくるようになるのかなと思ったんですけど、整理をよろしくお願いします。
1:43:29	藤阿藤、フジワラの話の関係ですと、
1:43:35	そもそももう、この表をどういうふうに作ってんのっていうので、
1:43:43	種条文ごとに分けてるんだと思いますけどと、フジワラが分析をしていて、
1:43:52	上げているというところだと思うんですが、
1:43:58	と、それだけでそれ以外で細分化してるっていうことはないですかね。
1:44:08	はい。宮城ニシダでございますはい。これがですね、現状孔間の答えではないんですけど、
1:44:15	パッチワークなんてところが大分あって、幾つか今以上に分類があったやつをどこかに入れて、合体したときに、
1:44:27	もともとあった分類をそこに書いたところで、グループとして一つにまとめたという。だけなので、本来、その市場分で語るっていうところのもとの設計の展開との関係を、
1:44:41	どうすべきだという整理まで多分きれいな状態が今だと思ってますので、そこをし、引き続き整理をしながら、表としての、
1:44:52	駅、品質を高めていくと、いうことだと思ってます。
1:44:58	はい。補足です。先ほど、
1:45:02	逆方向にコメントではありますけど、建物構築物機器配管で何で分けるんだみたいな話しました。逆に、これでですね主条文で分ける。
1:45:12	分けたいというふうにするんだったらじゃあ分類分けじゃいいじゃねえかと。その上で説明グループ一緒にするっていう手はあるぞと、いうことなんでその必要性っていうようなところも整理をしていただいたらと思うんです。
1:45:26	けど、今何かその辺で、こういうふうにしようと思いますみたいなのがありますか。

1:45:32	はい、日本インダでございます私がさっき全体の考え方に沿って整理が必要だと思っていたのは正しくですね。
1:45:41	ピンで立てる必要がないんじゃないかなと、どちらかが雑巾メール一緒になってるはずで、考慮事項としてはかぶってると思っているので、
1:45:51	そういったので資料分若手、かけたとしても市場部のサブなのか、の位置付け的には、若干、本来の主条文とは違う話なのかなと思ってますんで、
1:46:04	ジョイントできるところはそうやって整理をしていくということかと。ただその中でも、これは明らかに別だろうと。
1:46:14	いうのがあれば、切り離していこうというふうには思っていました。
1:46:20	ほとんどが多分、
1:46:23	合体できるんじゃないかなという認識ではいますはい。
1:46:28	はい、加来です。わかりました。
1:46:31	一方で、主条文二つ分なり、列記しているっていうこともあったような気はするんですけどそこら辺でどうなってるんでしたっけ。
1:46:41	はい。上西矢田でございます。はい。修文二つ、一つ限ることではないというのはおっしゃっていただいて今整理をしています。で、市場分が二つ以上がどちらか構造記名の骨格がちゃんと
1:46:58	バトンがそれぞれ決まって言えば、混乱もせず整理もできると思ってますし、
1:47:05	資料分が二つあるから、それぞれ別の分類にするという必要もないと思ってます。
1:47:12	ので、
1:47:14	先ほども言ったように市場分が複数出てきたとしても、別分類に分ける必要も多分ないと思うので、こういう形で整理を進められたというのが現状どう認識でございます。
1:47:28	はい、わかりました。
1:47:31	あんまりイメージにずれはないような気はしますが今日の話の踏まえて整理したもので見せていただいて
1:47:42	理解できるかっていうことかと思しますので、対応よろしく申し上げます
1:47:48	以上です。
1:47:56	はい、宮城ニシダでございます承知いたしました。
1:48:05	延長ヤマグチです。他 18 ページから 29 ページの説明グループに関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:48:19	ちょっと私から 1 点若干細かい、

1:48:23	なって恐縮なんですけど、ちょっと念のため確認させていただきたいんですけど、27ページの、
1:48:31	防護対象の度に関してでこれもちょっと、改めて整理いただくと思うんですけどこのその関連条文に、いや、13条の薬品がいなくて、医薬品は確かな部分が何か数少ない
1:48:47	漏えい元にあった気がするんですけど。
1:48:49	役員って、関連しない。
1:48:53	せいか他のところに何か入れてるみたいな感じですかね。
1:49:10	日本イシダでございます。
1:49:13	22ページの項目6番のところには、薬品として、対策設備の設計と、
1:49:22	いうのが入っているとSA対策設備の分類ではありますけど、その中に入れていているということです。
1:49:34	はい、藤谷藤。
1:49:36	そうですね同等に増益あってそこに対策設備設置するっていうことで、そこで説明されるっていうことだとして、このどうどうのいっす。
1:49:47	宇井。
1:49:49	とはどっちが違うっていう。
1:49:52	いう感じなんですけどちょっとそれぞれで何を説明するかっていうところで、イスター並ばずに差があるっていうことなのかもしれないんですけども、
1:50:08	下にホデ溢水で書かれてるのが建屋内への流入防止っていうことなので、
1:50:14	確かに一部建屋、屋外の溢水に対して建屋じゃで、建屋に一部流入するところがあってっていうその話が溢水としてがあるので、
1:50:27	薬品はまた別っていうことなんですかね、説明する内容として、
1:50:32	でも並ばないっていう。
1:50:39	言えちゃうと思うよ。だって屋外の構築内にどう入れるんでしょう。そしたらもう席に合わない。
1:50:48	日本イシダでございます。はい。先ほどの分類の整理に合わせて、対象物としてどこに何を説明するかをもう一度、
1:50:56	整理をさせていただきます。はい。
1:51:01	はい、規制庁山口です。お願いしますじゃ、ちょっと私の方の溢水薬品で、簡単にセットでこう見てしまってる場所ある。
1:51:09	なのでちょっと下確認をしておきますが整理をお願いします。

1:51:15	と他島規制庁側から説明グループの中に 19 ページまで確認ございませんでしょうか。
1:51:27	はい。規制庁コサクです。
1:51:30	この資料自体でっていうことでもないんですけど、
1:51:36	投票で、表の項目で書いてある、左から 4 番目の設計説明分類に含まれる主な対象設備と、
1:51:46	ということでこれ書いていただいて、大分理解が、
1:51:52	何を原燃が考えてそうか、何が問題そうかっていうのは、議論ができる状況になってるということだとは思いますが、
1:52:02	このままだと、会合とかで説明してっていう気もして、
1:52:06	もうちょっと全体像わかりやすくした方がいいんじゃないかと思えますけど、その辺りはどんな感じですかね。
1:52:20	わかりました。
1:52:26	はい、日本峯社でございますはい。ちょっとおっしゃる通り、ちょっと私が思ってるところがずれてる。
1:52:37	た方がいいんじゃないかと思えます。どうぞ。
1:52:42	はい。先ほど来あったように、MOXは節Bに直接、
1:52:50	リンクするような分類になってるので、全部が抜けなく売れてるよねってイメージが掴みやすいんですが、最初の方はこれの書いてあるキーワードも結構バラバラで、全部が包含できてるよねっていうことを見ようと思うとなかなか、
1:53:06	難しいなというところもあるので、そういう視点で、この対象設備のところをどう書けば、全体網羅できてるよねっていうイメージになるのかと。
1:53:18	いうところを意識して整理をしていきたいと思えます。
1:53:25	はい、尾崎ですよろしくお願いします。
1:53:29	いきなりですね土地勘 10 とか、治安 10SAとか、
1:53:33	パリであって、
1:53:35	このな、何、何かその分類に応じて何か説明したいのとかって思うと、安重避難所もまざってるし、一緒に、
1:53:44	何でみたいに、逆に疑問に思うよ。
1:53:47	カキブリになってるので、
1:53:50	その内数に全体が何あり、それをどう主なということで言ってるのかと。
1:53:57	いうことはまた
1:54:00	ここの書き方としての考えを出していただければなと思えます。

1:54:07	それで、
1:54:08	加えてなんですけど、10、
1:54:11	8 ページ以降と言いながら、
1:54:14	7 ページに戻っちゃうんですが、
1:54:18	説明グループの方は
1:54:23	なぜ地方にせずに
1:54:27	別添の方だけになったのか。
1:54:30	ていうのは何かあります。
1:54:32	設計設備分類をまとめて一つの表にすると分類の考えがわかりにくいから、
1:54:40	現状の表を、一旦は分類で表書いてっていうことはわかるんですけど、
1:54:46	設計説明グループとしても
1:54:49	骨格だけ表にする。
1:54:52	本体があってで、条文の関係性みたいなところは別件でっていう形。
1:54:59	全体像はつくれるんじゃないかなって気もするんですけど、いかがですかね。
1:55:08	はい。日本原燃瀬谷でございます。はい。おっしゃる通りだと思います。先ほど申し上げた7 ページ力つきたというところの前では、そうす。無理でした。はい。すいません。
1:55:22	はい。
1:55:23	そうしましたら
1:55:26	分類の考え方というのをしっかり文章に起こしていただいた上で他区がわかる表も入れていただき、具体的にその、
1:55:36	グループ内での説明すべき事項の関係性なり何なりは別添でと。
1:55:43	ということで、対応いただければと思います。以上です。
1:55:49	はい。ありがとうございます日本ヤギニシダでございます承知いたしました。
1:55:59	院長ヤマグチです。他規制庁は、最初に分類とグループに関して等、何かございますでしょうか。
1:56:10	あとは社長室ですか。
1:56:14	あと、管理の話がここに追加されるっていうことでしたが、9 月の対応方針書だと9 月 10、
1:56:22	2 日に、
1:56:23	廃棄物管理の方も追加されるということでしたが、

1:56:27	管理の方はもう、切て説明ぶりは管理として立ててあって、
1:56:35	説明グループなんかも全部検討されて、今後、ここに追加されてくると、そういう理解でよろしいでしょうか。
1:56:43	与儀西尾でございます。はい。追加されますという状態では多分なくてですね最初にずっとコラボしないといけないところという上手く、
1:56:54	セットしないといけないところもあるので、最初の整理をちゃんとした上での話だと思ってます廃棄物管理線として説明しなきゃいけない項目の抜き出しはもうすでに終わっているの、そこをどう、
1:57:07	分類整理していくかということ、最初イトウ設計説明分類とどういうリンクを取っていくかと、いうことだと思ってますので、
1:57:16	再処理の整理にへの引きずられていくというふうには思ってます。はい。
1:57:21	はい。齊藤草野。
1:57:23	協業とかもあつたと思って出始めの方にも共用の話も少しあつたんですが、そういったところもちょっと見えるようにしていただければと思います。
1:57:34	はい、宮城ですでございますはい。ありがとうございます。そこも明示して整理していきたいと思えますはい。先ほどのSEみたいなものでのMOX再処理の共用だったり、
1:57:48	全般。井清というのはDBの世界での再処理と廃棄物管理の共用の話、全般的には整理をして抜け漏れがないように整理をしていくものだと思ってますので対応させていただきます。
1:58:03	はい、それではお話よろしく願います。以上です。
1:58:07	規制庁小阪です今の点で、すいません私も確認漏れしてたんですけど、
1:58:13	6 ページの(1)は再処理廃棄物管理としてまとめていて、で、
1:58:21	基本、再処理施設の中にも廃棄物管理と同じ施設が同じというか構造が同じ施設があつて、
1:58:30	それと説明することは変わらないのでっていうので一体でっていうのはこれまでです。審査会合での説明があつたところなので、合わせて体系づけて、まずで説明いただければと思うんですけど。
1:58:43	一方で目次を見ると、
1:58:47	最初両別添 1 廃棄物管理は別添 3 ってことになっているのは何ですか。

1:59:02	はい。乳井ニシダでございます。はい。まず、設計説明文とかの設定の定義としては、今ほどコサクさんが言っていたように再処理と廃棄物管理。
1:59:13	具体的にというものがコンセプトでございます。
1:59:18	じゃあ何で別添 1 別添 3 で分けるのかということについては、最終的な姿は、別添 1 としてコラボさせようというふうに思ってますが、
1:59:29	当然採用整理する中で、最初っからコラボすることを前提に整理を進めないといけないという認識をしながらもうそれぞれ作ってから最後終わったたりしようかなというのが、
1:59:39	もともと考えてたところでした。はい。
1:59:43	補足です。一緒に作業してください。
1:59:47	はいウダ作業が発生するので。そうですね。はい。
1:59:59	古作です。そうすると先ほどの共用でっていうところが大分
2:00:05	作業は、効率的になって両面からこういう対応しますっていうことで書けばいいだけになると思うんで、
2:00:14	せっかく 6 ページで統合してますから、全体その形で整理を進めていただければと思います。
2:00:22	はい、乳井西原でございます承知いたしました。
2:00:31	規制庁山口です。と再処理管理の分類グループまでに関して規制庁側からでございますでしょうか。
2:00:39	ホシコタケダ
2:00:40	と受ければ、あとちょっと僕数までやったら休憩はヤマモトと思いますと。
2:00:48	続いて、8 ページと、9 ページの頭で阿藤MACCSは別添を含めて 31 ページから 34 ページの別添も含めて、
2:01:00	トモクの分類説明グループに関して規制庁側から何かございますでしょうか。
2:01:09	規制庁の藤原です。このボックスの設計説明分類っていうのは、この 2 回だけではなくて、3 回 4 回についてもこの 16 分類でいくっていう理解でいいですか。
2:01:26	はい。日本原燃瀬谷でございます答えとしては、違いますという答えになります。3 回になってくると、この中に入らないものも登場すると思っます。
2:01:39	たとえば特徴的なものでいけば何かインデントがおかしいと。

2:01:45	FAで単独でつける設備の火災の感知消火系のものは、機能要求も個別にあるのでそれはそれとして、
2:01:58	連携説明分類を立ち上げようと思ってました。
2:02:02	プラス、今回出てきてない電気設備みたいなものだけ通信だったりですねそういったDSAでコラボしているようなものも、
2:02:12	設備として見ると、この中には溶け込ますニワアノ品で要求があったりするるので、そういったものも出てくると認識をしています。
2:02:21	その代わりに、第3回のところ第2回で出てきたものが登場しなくなる人も、一部いるという関係になっていると認識してました。
2:02:33	規制庁の藤原です。まさしく今おっしゃられたようなものがどこに帰っていくのかっていったところが疑問だったのでお聞きした次第です。ではこの16分類は今回の2回の申請で、
2:02:46	のみ使うもので、3回4回となっていくと、この項目はポンプにイせて、123というのはまた別のものになっているということで理解しました。はい、ありがとうございます。
2:03:11	村長金光ヤマグチです。
2:03:14	はい、お願いします。
2:03:15	目のための確認なんですがこのボックスのまず設計説明ぶりの説明のところは、再処理で結構丁寧に説明してどう
2:03:25	変わるとは思うんですがMOXはほとんどもう説明がないんですがここは先ほど力つけたとおっしゃっていた。
2:03:32	ことに関して、今後ちゃんと拡充されるんですよ。
2:03:42	はい、乳井米田でございますはい。合わせて努力をいたします。はい。
2:03:48	あまり、設備の構造意識して機能を意識して分けているので、そういったことを手で離隔ということで考えますはい。はい。
2:03:59	そそういうことで最初に、とは考え方が違うっていうところが、やはり、
2:04:05	通して読んでいくと、何でこんなあっさりしてるんだってなるので、そういうところを少し中心的に書いていただければと。
2:04:20	はい。乳井ニシダでございます承知いたしました。
2:04:30	船長ヤマザキです。他島ボックスの云々に関してまでで規制庁側からでございますでしょうか。
2:04:41	遠い。よろしければ
2:04:43	ヒアリングを開始して、2時間経過してるので、この後ちょっと各資料1資料2とかの話に入る前に一旦休憩を入れたいと思いますが、
2:04:55	といったここまでで、

2:04:57	休憩後に振り返りしますか、それとも最後にまとめてがよろしいですか。
2:05:09	すいません原燃に確認でした。すいません。日本インダでございます。はい。まとめてやりますかね。
2:05:18	はい。規制庁山口です。わかりました。
2:05:23	ちょっと振り替えの仕方、結局どうなったのかをちょっと忘れてるところあるんですけど、基本的に今日、最後まとめてやっていただいてそこでちゃんと対応とかが、
2:05:35	説明できなければその後速やかに対応方針を出すっていう、そういうやり方。
2:05:42	でしたよ。でしたっけ。はい。はい。その通りです。はい。
2:05:48	はい、わかりました。それでは一旦不休憩を挟んで、そのあとは、資料1のところから再開したいと思います。
2:05:58	new5時50分再開で、本庁側で録音の提出をお願いします。
2:06:05	はい。録音を停止します。
0:00:01	録を再開しました。
0:00:06	はい、基線長ヤマグチです。それで引き続き、
0:00:11	東京ツジ日本たいうって、9ページの2ポツ2、資料1からに関して、
0:00:20	1ポツに関しては後ろの参考とかも関連であれば、あわせて原燃側から説明をお願いします。
0:00:34	はい。荻野インダでございますはい。
0:00:39	先ほどあった施設共通の基本設計方針をブレークするという点。あとは、
0:00:47	9ページ、個別の配慮事項に落としてしまったところが全体の方針と、
0:00:56	っていうかをもう一度確認しなきゃいけないと思いながら、10ページにある、DBSA共通的なもののハード的な話ですね、これを、資料1でちゃんと関連図で、関連をつけるというところを、
0:01:12	資料1では、PR1ということで宣言をしています。
0:01:19	はい。
0:01:20	その具体は先ほど説明した後ろ側にある47ページとかが該当する、対象として整理していいということでございます。
0:01:32	先ほどの設備等々以外でいくと40ページが、
0:01:39	外傷関係の条件、36条の要求設備でも同じように、関連するということができるように、資料1の段階でケアをしていくという書き方が、40ページでございます。

0:01:55	はい。
0:01:57	資料 1 としての説明は秋田はあります。すいません先ほど話が出た、再処理MOXとかの共用の部分もここでちゃんと明確にして、対象として抜け漏れこの資料 2 以降での展開での抜け漏れがないようにと。
0:02:14	いうことが、必要だと思いながら抜け落ちているというところは今後適切に修正をしていきたいと思っております。説明は以上です。
0:02:28	はい。規制庁山口です。それでは資料 1 に関して、当間突然本文と後の 3、
0:02:39	具体も合わせて規制庁側から確認を伝えましたらお願いします。
0:03:10	県庁ヤマグチです。通しの 1 について特になければ、次にポツ 3 ツジ、よろしいですか。あまり大きな話ではないんですがここから徐々に具体的な話が、
0:03:24	展開されているんですが、まだここは再処理とかMOXとか、そういう施設共通の話が展開される領域なので、
0:03:35	例えば重大事故等対処設備第 36 条で 10 ページ目の上の方に展開した結果が書いてあるんですが、最初はまだこれが最初の事例であることがわかるようにしてもらいたい。
0:03:48	とか、あとその他って単独で扱われると、何の条文だかわかんないので、そういう外的
0:03:56	とか内的とか、ちゃんと
0:03:59	何の内数のことを今話してるのかっていうのを明確にまずしといていただければと思うんですがその辺の認識いかがでしょうか。
0:04:10	はい。日本イシハラでございます。はい。失礼いたしました 9 ページでは、外部衝撃による損傷の防止とか、条文との位置付けがわかるように書きながら、10 ページの頭に行くといきなり竜巻外部火災と書いてある部分、
0:04:25	条文要求とのリンクがちゃんとはかれるようにというのと、あと重大事故等体制的におっしゃる通り 36 条というのは、最初の例でしかないので、MOXも含めた書き方をそれから、
0:04:38	最初の例として 36 条の各科、ここで 36 条という 9 条文の番号かかっても話は通常でそこも含めて、記載整理をさせていただきます。
0:04:50	はい。正当化ですよろしく申し上げます
0:04:52	それですとねあとこのハザードな結果が今のところなんですが 10 ページ目の一番上の矢羽根で、いきなりこう結果が出てきている感じがあってですね。

0:05:04	初めの方では外的内的ハザードに係る事項って外部衝撃とか、
0:05:08	を検討していきますというふうに書いてあるんですが、ここでこう、かなり限定的に書かれて、
0:05:15	いて、これ以外に何かのように見えるんですが、ここは、
0:05:20	もしこうやって限定的に展開するんであればもう少しその理由を示して欲しいんですがいかがでしょうか。
0:05:29	はい、乳井0社でございますはい。まずは周知いたしました。2.2、これ以降の構成もそうなんですがこの資料1の中で、
0:05:41	展開をするときに、ベースとして考えなきゃいけない考え方が、この留意事項等以下に示すと書いてある前までで、留意事項を藤以下に示すというところは具体的に資料を作るときに、
0:05:57	気をつけなきゃいけないポイントを具体的に展開しようと思ってました。
0:06:03	これ江川の方で、ちゃんと下で具体的に展開する時の基本的な考え方を改めて、留意事項は2つなげられるようにということでご指摘と認識をしましたので、
0:06:17	文章の整理を進めさせていただきます。
0:06:20	はい、規制庁下ですよろしくお願いします。
0:06:32	セトへ。
0:06:34	あ、すいません今福です。
0:06:38	古作ですけどもう
0:06:42	今の36条っていうか重大事故対象ですね。
0:06:46	話まず、再処理だけこれやるんでしたっけ、MOXどうすんでしょ。
0:06:53	宮城ニシウラでございます。MOXもやります。
0:06:58	はい。岡野さん、別紙ということでは言いました。はい。
0:07:03	了解です。コサクですその上でなんですけど、それを、その36条をどういうふうを書くのかは整理していただいってのはこれからもやる話なので、それに応じてではあるんですけど、
0:07:21	参考の方その辺りどういうふうになるかっていうのは、
0:07:27	これから手をつけるってことですかね。
0:07:32	うん。40ページ。
0:07:36	うん。
0:07:37	この部分だと思んですけど、これでは仕上がりですか。
0:07:49	はい、与儀値者でございますこれ一。

0:07:54	こういうふうに進めていきたいという風、これで、イセでは多分ないと思うので条件が違っていたりってところのケアも含めて、どうしていくかということ、あとこの中 1、1 個で全部済ませられるかということも含めて、
0:08:10	重大事故側でのフォーラムをどうしていくべきかは、もう少し検討が必要だと思っています。
0:08:18	はい。
0:08:21	はい。あれですかね、TBSトモニっていうの等、
0:08:27	井清だけというところと、
0:08:30	結果要件がかかるところってというのは、5 日パターンがあると思っててその中で、番号で書き分けるってことですか。はい。西浦でございますそのやり方をしようかなと思ってましたそれが、
0:08:47	煩雑にならないかということも含めて実際作ってみて、形として見ていかないといけないなと思ってたところでした。私と溢水のタスクで金今まさしくやろうとしている。
0:08:58	DSAの条件だったり竜巻でも同じようにやろうとしていること、そういったものを踏まえて、条件が付加されるものを、個別性だけかかるものだったり共通だったりっていうのがそれぞれ、
0:09:11	あると思うので、そこの認識をした上での書き分けということはどうしていくかということを検討しないといけないと思っています。
0:09:21	はい、わかりました。そうすると主に水を先行としてはあると思うんですけど溢水で整理をし竜巻でも
0:09:34	並行して、
0:09:36	フォローしていったところを踏まえて、こちらの方も改善していくっていうふうに思えばいいと。
0:09:42	はい。乳井西尾でございます。はい。おっしゃっていただいているような形で進めさせていただければと思っています。
0:09:51	はい。どうですわかりましたじゃ精査をよろしくお願いします。
0:10:02	きちんとヤマグチです他資料 1 に関して、参考の施設のところも含めてですけど、規制庁側からございますでしょうか。
0:10:12	よろしければ、続いて日本通さんの資料に、すいませんコサクです。事故ってことでもないんですけど、41 ページは方針の部分で、
0:10:25	具体わかるようにしていくということでひもづけしていただくことで、先ほどの説明でもわかったんですけど、それ以外に資料 1 でこういう改善しましたっていう事項はないと思っていいんですかね。

0:10:43	はい。日本インシダでございますあとは特にポイントできてないのか。例の転用セキュリティーのところの書き方とかそういうのは、あわせて今までのやりとりを踏まえて改善をしております。はい。
0:11:02	はい。そのあたりは、ここで見えなくていいという。
0:11:06	はい、与儀飛田でございます。
0:11:09	今定例会に毎回かけるんであれですけど、入ると思います。誤解があったからとか認識違いがいろいろあったからなってるはずなんで、作り、作り手に誤解がないようにという意味では、ケアが必要だと思います。はい。
0:11:24	はい。よろしく申し上げます。
0:11:27	ちなみに、それでいうと、そういう配慮した上で、介護資料の参考ってどうなります。
0:11:43	はい、日本、というメジャーでございます。参考に、
0:11:54	参考に、
0:11:57	今資料1は入ってたよね、資料。
0:12:00	あまりそ。
0:12:02	二分。
0:12:05	資料1も何かいろいろ配慮した、今回いろいろ検討した事項がわかるように、
0:12:11	吹き出しを書いたりしますか。はい。はい。ちょっとその辺のケアして
0:12:17	明日出すときには、総括した形で整理をさせていただきます。はい。
0:12:24	はい。よろしく申し上げます。
0:12:33	季節ヤマグチです。こっから資料1に関して規制庁はございますでしょうか。
0:12:39	競売と2ポツ3の資料について原燃側から説明をお願いします。
0:12:47	はい、乾瀬谷でございますはい。新居小口さんの資料2ですが、
0:12:53	先ほどの本文1ポツでもありました設計系事項を説明すべき実行黙禱設計説明分類の紐付け、
0:13:03	業績方針の要求種別を踏まえて、設計項目を明確にしていくというところでございますdせ、
0:13:12	経営項目の展開は、基本的には、
0:13:15	10ページのところに書いてある要求種別をベースに展開をしていくことで考えてます。
0:13:25	いえ、11ページの方に行きまして、

0:13:33	評価のものっていうのは前からお話して評価単独でいくものだけではなくて、構造設計等をやった上でそれが
0:13:44	目的を達成できてるかというのを評価で確認するということ。そういう場合には評価のことを考えながら、特別改良が必要な事項というのを、構造設計系がでもちゃんと展開をしていく必要があるというようなこと。
0:13:59	あとは、金委員からの変更点をここでも同じように、設計項目、一応設計方針との紐づけ、設計COMと彦付ということで、資料 1 との繋がりをここでも持たせると。
0:14:13	ということで整理をしようと思ってます。
0:14:17	はい。あとは、それぞれの設計項目に合わせて、資料 3 資料ように展開をしていきますということを謳っております。
0:14:27	先ほどの資料 1-2 と同じように、11 ページ岩瀬からそれぞれ個別の記載としての留意事項を展開をさせていただいてございます。
0:14:37	ここでも共通事項の割に 36 条と書いたりしますし、竜巻外部火災といった記載が先ほどと同じように、個別具体しか書いてなくて、条文要求とのリンクがありませんので同じように整理をさせていただきます。
0:14:54	はい。
0:14:57	はい。あとは、今説明したものの、訴えを参考側で展開をさせていただいてます。
0:15:05	43 ページにあるのが、先ほど滝委員からの変更点を、資料 1 の段階で結びつけて、抜け漏れがないようにということで、資料 1 から資料 2、資料 2 から資料 3、
0:15:19	資料 4 ということで、展開をしていけるようにしているということでございます。
0:15:25	44 ページからは、前から代表の整理の話を展開をしているものでございます。はい。
0:15:35	あとは、45 ページとかは構造設計とかと対になるような評価部がある場合はリンクをとるんだと、というようなことと、もともと要求種別からちゃんと展開をするんだよと。
0:15:47	というようなことを伝家の整理をしているところ。
0:15:51	46 ページは先ほどさらに追加の資料 1 でも、追加でいろいろコラボのところを整理しないといけませんけども、例えば、8 条の竜巻でいう 36 条と八条、これも、
0:16:07	最初の例であることを整理をした上ででございますが、

0:16:12	紐づけをどうやって展開をしていって、資料 2 の段階でどう整理されるのかというようなことを、例示として表したものの、こういう検討を今やっているという様ですけども、
0:16:26	示しております。
0:16:29	はい。47 ページは先ほどお話しした施設共通の話になりますので割愛します。
0:16:34	はい。2.3 の説明以上になります。
0:16:46	はい。規制庁山内です。
0:16:52	ちなみに今の資料 2 の説明としては、その参考で後から続くん。
0:16:59	資料 2 の中でも、参考 2-1 参考 2-2 とかの説明まで含めて、一旦ここまでっていうことでよろしいでしょうか。50%まで。
0:17:12	はい。宮城ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいて、すべて全体で説明をしました。参考 1 には、上からMOXを例示してつけてましたので今回徳田追加の説明はございません。
0:17:28	はい。規制庁山口です。どうもありがとうございますとそれではアオキ支店長側から資料 2 に関して、確認ございましたらお願いします。
0:17:53	昨日ちょっと
0:17:56	ちゃんと聞き取れなかったところがあつて、説明してたら申し訳ないんですけど、
0:18:02	設計項目。
0:18:06	話で先ほどお話ししたところでのポイントをどこに書いてるのかっていうのがちょっとよくわからなかったので、もう一度説明いただけますか。
0:18:16	そう。もう、ポイント、相関で関係するところということですけど。
0:18:43	次、はい、乳井上西様でございます。いいんだっけ。
0:18:49	今後、
0:18:51	はい、野木西尾でございます。資格総合関係のところを、
0:18:57	書こうと思いつながら、
0:19:01	見事に運用要求だけを一生懸命書いてるのが 10 ページの下、その前にそもそもその基本設計方針の要求種別を見ながらやるんだよ。ただ
0:19:11	行政教授ナカも見ながらアノ、
0:19:15	設計としてやんなきゃいけないことを評価で見なきゃいけないことを抜けてなくやるんだよということを、
0:19:23	書いてはずだったのが 10 ページのまた書きのところだったんですけど書いてないんですね。はい。ここで変えていかないと費用が繋がらないので、そこを丁寧にやらせていただきたいと思います。

0:19:35	あとは 11 ページのところでお書きがあつて評価のうち云々と空いてますけどこれもちょっとここには余りにも場所が悪いので、
0:19:45	先ほどの臼歯部との関係を言った上で、抜け漏れなくそういったところを展開をすること、関連性をちゃんと考えることということ、運用要求についても、もれなく関係するものは抜き出すんだということも含めて、
0:20:00	全体 10 ページの一番下の方の文章のところで、具体を展開していくように、文章を書き直します。
0:20:10	はい。補足です。わかりました。今言われた 11 ページのお書きの下からが代表の話になってくるので、
0:20:21	先ほどちゃんと仕分けをして書い図れるということだと理解をしましたのでよろしくお願いします。そうするとですね、10 ページのところから今のところまでということなんですけど、
0:20:35	最初の段落の 3 行目に、要求種別を踏まえてとあつて設計項目と、
0:20:43	きてるんですね。で、この要求種別っていうのが、基本設計方針で 00 資料で C 地区のところでの整理だと。
0:20:55	そっか。
0:20:57	審議だったんでちょっとあれですけど、分けてるところのはな C になるんでしたっけ。
0:21:04	はい。峰市長でございます。はい。別紙 2 で整理をしているものになります。
0:21:12	はい。黄色です。で、もうそれで共通認識とれてるのかもしれないんですけど、藤と II
0:21:19	なのかなって気もするのでもし、そこの辺りは補足をしていただけると、
0:21:28	いいと思い、
0:21:32	ますか。
0:21:34	どっか書いてあるでしょ。
0:21:37	日本原燃石田でございますニツタ書いてますが、共通ニイツで供給力とかで丁寧に説明してたのでそれを前提に行ったりポツと書いてしまったんで、
0:21:47	そういったものとの共通的な認識であることを前ふりをした上で、各海区出そうと思いますはい。
0:21:56	はい。共通 09 で整理しているとかっていうようなところ、復帰するのでもいいですし、注釈でそれでもいいので、適宜対応いただいて、
0:22:07	それ、

0:22:08	それ。
0:22:09	を踏まえてこの設計項目っていうところがすごい急で、それのな、どう踏まえるのかっていうのが結局あんまり書いてなくて、
0:22:20	運用要求のものについてはまた書きで書いてあるんですけど、
0:22:24	そこをもう少し書かないとっていう気もするんですがどうなんですかね。
0:22:29	はい、井出吉田でございますはい。そこをですねすみません私が大分は測定、書いてしまったの矢羽根で四つ書いてあるところがその関係性を書こうかこうと思いつながら、
0:22:45	なんでそういう配分になるのかっていうも、考え方がないまま、
0:22:51	いきなり設備を配置設計でみたい書いてあるので、そことあと書き下して整理をしていければと思います。はい。
0:23:03	はい。わかりました。それで雄踏、要求種別っていうのはここで言っている矢羽根四つと運用要求ってことになるんですか。
0:23:15	はい。乳井瀬尾でございますこれ以外には定義っていうのがありません。ただそれは定義というのは、設計時はある種大枠のことを書いてるだけみたいな話の者がいますはい。
0:23:28	うん。
0:23:30	コサクです。わかりました。それ以外はないですね。
0:23:36	あともう一つ冒頭宣言ってよくわからない人。
0:23:41	ちょっと関係性は冒頭宣言っていう場合は必ずそれを具体化する基本設計行政がどこかにいることを前提に、冒頭制限にしているのでそこは関係性を整理すると。
0:23:53	いうこと資料2だったかな。2でも、冒頭制限のやつも書いてそういった具体を設計で説明しているのは何番と何番ですっていう気も付けまして、
0:24:04	冒頭宣言も必ず設計として紐付けてますよっていう認識を示してます。はい。
0:24:12	そうですね。そうするとその旨ここに書いてないってこと。そうですね。はい。はい。ということです。はい。おっしゃる通り。はい。なので今言われたように、全部を挙げた上でそれぞれどういう整理をするのか。
0:24:25	どういう関係があるのかっていうのを一つ丁寧に、ここで書き下していくということかと思えますはい。
0:24:32	はい、わかりました。当初かなり冒頭宣言で揉めたい記憶が確かにありますので、整理をしてください。

0:24:40	そうするとまずは要求種別からどうそれぞれにですね、どういう視点を持って整理をするのか、最終的に設計項目に導くのかと。
0:24:52	いうことをここでは出していただくということですけど、先ほどの設計と評価っていうことでいうと、この段階であれですかね機能要求で
0:25:05	もう、例えば機能要求②で主に構造設計というところでも、一つの基本設計方針の項目に対して、
0:25:19	背構造設計に振るもの。
0:25:22	とあわせて
0:25:25	構造でソウセ整理するけど評価でもこうやりますよっていうことで
0:25:30	関係するものは、この段階でもう両側に出すっていう、そうするっていうことにするんですかね。
0:25:38	はい。宮城瀬谷でございますはい。おっしゃっていただいている通りで別紙 2 でもともとで整理したときも、構造強度を確保する、それを評価で、天下の確認するみたいなことで基本設計方針があれば、
0:25:52	機能要件②と評価要求じゃないのかコラボで要求種別に二つ書いてあるパターンになります。その場合は資料 2 の段階でそれぞれ必要な設計として展開をする。
0:26:03	この場合は正しく構造設計をやったものが適切であるかを評価で確認するので、資料 2 の段階でそれぞれ相関がありますよという整理をしていくということかと思ってます。
0:26:15	ただここで、さらにケアをしなきゃなと言ったのは前回口頭でお話した、そういう要求種別が本当に正しいよねっていう確認を再度ここでしないといけないんで、
0:26:26	機能要求だけの方が立ってるものでもこれ実際やる時には評価で確認しないといけないんじゃないのかというのがあれば、ここでさかのぼって、書き直しに行く必要も、
0:26:36	出てくるんじゃないかと、いうところもちゃんと検討せよっていうことのフラグを立てたいというのが思ってたところでした。
0:26:45	はい、小阪です。わかりました。そうすると、ここの部分詳述する中で現れてくるということで理解をしますけど。そう考えると、
0:26:55	評価要求のところは 2 行目に、評価のみで云々というのが書いてあって、これ 11 ページの先ほど持ち上げますと言ったなお書きとの関係ってどうなの。
0:27:11	はい。宮城ニシダでございます。はい。
0:27:16	持ち上げると言ったらまさしくこれがですね。

0:27:20	今の 10 ページで言う、矢羽根の、
0:27:26	評価要件のところに書いてある、設備が機能達成することを説明するにあたり、評価等を行うものっていうのの後のあるような、
0:27:36	評価により設備設計合同設計排水が適切に行われていることを確認するものがあるっていうのが、私コウノアオキで言っている、構造設計とかと評価がコラボしないといけないものっていうのは、
0:27:49	あるよと、これは具体的な番号をつけて紐付けたりとかっていうことをしないといけないっていうのがなお書きの話なので、
0:27:57	先ほどの基本設計方針から展開するときのケアすべき事項として、先ほどの 10 ページで矢羽根評価用の右の後段の部分についてはそれぞれ、
0:28:08	設計要求がひもづいているということがわかるように展開をなささいということ、
0:28:17	あるべき姿として書いていくということかと思っておりますのでなお書きの上に上げて、全体として、整理していけばいいかなというのが先ほど言ったことでした。
0:28:27	とコサクです。そうすると作業プロセスとして、まずは要求種別から設計項目をしっかりと等、漏れなく抽出していくんだっていう時に、
0:28:38	機能要求のところは評価も忘れずにということで設計評価を拾ってくるし、
0:28:45	評価要求のところは設計配慮があるんであれば設計もまず抽出しますよということで書き出した上で、相互関係するものについてはちゃんと資料 2 の中では関係性を明示しますよっていうのが先ほどのなお書きでということですね。
0:29:03	はい。はい、右田でございます。はい、ありがとうございます。おっしゃっていただいた通りでございます。
0:29:09	はい。わかり、規制庁コサクです。わかりましたそれで書き下していただければ、懸念は払拭するかなと思います。
0:29:18	現状の運用要求のところ、書いてはいるもののちょっと、どう細分化があるのかっていうところは若干わかりにくいかなという気もしますので、
0:29:31	そこら辺の拡充も含め全体整理していただければと思います。
0:29:38	はい、二本木です。
0:29:42	はい。承知いたしました。
0:29:45	規制庁コサクです。12 ページ。

0:29:49	真ん中のところの重大事故関係なんですけど、
0:29:54	これは
0:29:58	と資料1の方がイメージつくんですけど資料2で国庫の書きぶりはどう いうことになるんでしょう。
0:30:08	はい、日本原電。
0:30:13	はい。
0:30:20	あ、
0:30:23	え、
0:30:24	つつ、
0:30:30	やりたかったことはタテたことは46ページが該当してまして、
0:30:38	これも竜巻とかイセで整理をしていく中で舞台をさらに、よりよいもの にっていか適切なものにしていかないといけないと思ってます。
0:31:02	いろいろとしているので、
0:31:05	箇所の鳥羽CIOですね、説明グループの
0:31:34	決得はい。音声がちよっと途切れちゃって、
0:31:39	ちよっとよくわからないので、改めて説明いただければと思うんです けど、46ページが対応するところまでは
0:31:49	とりあえず聞こえてたんですけど、はい46ページが、これ大丈夫かっ ていう気もして、今言われてから見て思っていますね。
0:32:05	等、
0:32:08	設計項目の考え方のところDBの方で対応しますと振っているって いうこと自体はわかるんですけど、
0:32:17	それでいいのかわちゅうところがあまり繋がってないような気が。
0:32:23	捨てて、どういうふうになってるのかなってことなんですけどそれはあれ ですかね、薄井の方で、こういうふうにしていきますって聞いた方がいい ですか。
0:32:33	はい。日本インダでございますはい。ちよっとこの具体的な書き方がうま く、まだ整理っていか頭の整理も含めてできてないという感じを持って まして。
0:32:46	実際は溢水で今やろうとしてるDBSAと同じ条件とはどこだ。付加す べき条件は何か。
0:32:56	ていう、先ほどの幾つか分類があるよねって言ったようなところの整理 も含めて、ベースを固めていくと管設計項目の考え方だったり、

0:33:08	説明グループの考え方をどこに何を書けば、リンクがとれるのか、ボタンが渡せるのかっていうところを、より具体的に整理ができていくかなと思ってました。
0:33:20	本来ここには条件だったり、共通なのか、特別な条件があるのか、対象物が一緒なのか違うのかというも含めて書いた上で、フラグを立てて、飛ばし飛ばし日程、
0:33:35	受ける方は受けてますと、何を受けたかっていうのも含めて展開をしていくってのがやりたかったことです。まだその具体までは天下の記載も含めた例示ができてないので、
0:33:46	そこをさらに検討を深めないといけないと思ってます。
0:33:54	はい、そうですわかりました。
0:33:57	基本的には基本設計方針のところDBとSAが一緒だよってことが暗にわかるように、言葉を整理していたはずで、
0:34:07	それを対比させて一緒です。
0:34:11	のでとかっていう、
0:34:13	説明はですね、他の資料2と同じようにでは無理があって、
0:34:19	別日を作り、別表からみたいなこと話しないと、ちょっとわからないんじゃないかなって気がしているんで、
0:34:28	その辺りは溢水のところで話をして反映していただければというふうに思います。
0:34:38	はい、日本瀬谷でございます。はい。承知しました。そういった視点も含めて整理を進めたいと思います。
0:34:52	はい。それはそれぞれでいうと12ページのその矢羽根についてはその検討を踏まえてブラッシュアップするということで、
0:35:04	はい、乳井伊勢でございます。はい。おっしゃっていただいている通りかと思えます。
0:35:10	昨日わかりました。
0:35:15	それと、今言うより資料3の方で聞いた方がいいかもしれないですけどし、資料3、
0:35:23	ここだ等、
0:35:32	資料、
0:35:35	資料2と資料3の繋ぎの部分っていうところの要望の関係なんですけど、
0:35:46	等、
0:35:48	資料にわあ、あくまで設計項目。

0:35:54	通してて設計項目の考え方っていうところがバスだし、
0:35:59	のところになってるんですけど、
0:36:02	資料 3 の受けはどうなってるか。
0:36:07	ていうのは、
0:36:09	ちょっと先行してで申し訳ないですけど、説明いただいていいですか。
0:36:19	具体的に言うと設計上の配慮事項ということに、引き続きなってるような気がするんですけどそのあたりの扱いを、これまでの議論で、2 転 3 転してたような気もしてて、
0:36:30	結局どうなるんでしたっけってことなんですけど。
0:36:46	はい。日本原燃者でございます資料 3 と邪魔資料 2 と資料 3 のつなげていくと、資料 2 で言う、設計のところだけ、
0:36:57	設計ゴムの考え方、これを受けるのが、今資料 3 っていう構造設計とかの具体の項目のところになるんですが、おっしゃっていただいて設計上の配慮事項、すいません河津。
0:37:11	何を使うかが定まってないのが状況でございます。特別な構造設計とかは基本共通的なものとして書けるものは変えていこうと。
0:37:22	いう中で、特殊事例がある場合はここで書くというやり方もあるし、と言いながら、以前は確かに、添付書類とかで書いてあることに書ききれてない、足りないところをここに書こうと思ったんですが、
0:37:36	そんなのは直接左側を直せばいいはずなので、そういう意味ではそれはやめようっていうことになって現状は
0:37:43	構造設計とかに書いてある、例えば 52 ページでいくと構造設計とか、いろいろ具体の話で書いてますけど、
0:37:49	ここが共通的に書いたものに、特殊事例がある場合に、何らか配慮事項として書くかっていうのも一案ありながらもまだすいません軸足決まってないのが現状でございます。
0:38:08	規制庁コサクです。
0:38:10	それってあれば資料 3 のところはちょっと詰め名切れないかなっていう気はするんですけど。
0:38:16	少なくとも資料 2 の方はもう設計項目。
0:38:20	の考え方でしたっけ。いうところを通して、その形としてその部分をしっかりと受けてるようにしますっていう。
0:38:32	範囲でいいんですかね。
0:38:34	はい。
0:38:40	オクです。とりあえず、

0:38:42	起こせはわかりました。ただ、
0:38:46	本文側では資料 3 の方でもそういうことも書いてないしというような気がするので、
0:38:53	すっきりと繋がるようにしてください。
0:38:57	はい、吉田でございます。はい、承知いたしましたおっしゃる通り資料 2 から資料 3 につなげますと言いながら、具体的にどこどこが繋がるのかが書いてないところがあるので、そこをちゃんと丁寧に記載をしていきたいと思います。
0:39:23	規制庁山口です。一部資料 3 の話もあったんですけど一旦資料にて、規制庁側から他確認ございますでしょうか。
0:39:34	清家オオオカです。今回代表の考え方を 44 ページ。
0:39:41	のところなんかで見ると説明グループの考え方の中で、明記していきますというふうに、
0:39:48	となってきた、これ、
0:39:52	が、衛藤。
0:39:54	まず何、何で説明グループの考え方の中で代表の考え方を、
0:40:00	説明するようになったのかっていうのを知らず、教えていただけますか。
0:40:18	はい。りゅうぎんの伊勢でございますはい。バーナガタ岩瀬ないかもしれませんが、もともと説明グループの考え方。
0:40:29	ていうところに書きたかったらそれぞれの説明グループがどういうたいかではなくて、複数の設計説明分類 2、共通的なものを、
0:40:40	どうやって説明をしていこうかという、代表の考え方ですねそれが正しくの説明グループで何を説明するかに繋がるので、この欄は、
0:40:50	もともと、これを書くために作ったらんと言ってもいい感じで作ってました。若干、縄田岩瀬ないかもしれませんが
0:41:00	市長はそういうことです。はい。施設長。そこはわかりましたで、やはり段階表してないというか、今まで説明グループの考え方で記載していたことがまるで抜けて、
0:41:14	代表の説明だけになってしまっているという、
0:41:17	この 44 ページのサンプルを見るとですね、そういうふうになってしまっているの、
0:41:22	説明グループ、
0:41:25	を考えた上で代表、
0:41:28	設定しているということがもう少しわかるように、

0:41:33	ちゃんと説明グループの考え方と、代表の考え方を示していただきたいんですが、
0:41:39	イメージわかります。
0:41:46	はい。与儀ニシダでございます。はいあれですね。言われているのは、
0:41:53	MOXの場合設計説明ぶりの一番が収穫になっているので、これに大分預ける感じに今なってるところがあると思ってますんで、
0:42:05	それはなぜかという、主たる設備であるグローブボックスを設計説明分類。
0:42:12	を起こした上で、説明グループとしてトップバッテリーに持ってきてるから、多分こういうことになる。その下でもう2代表預けるってことにすれば、必要なものを主要なものが全部説明グループ一番で、
0:42:26	説明されてくるというのが説明グループの設定であり、代表としての設定の根拠であったりということかなと思いますので、そういう考え方が全体としてちゃんとわかるようにということで、受け取りましたがよかったですでしょうか。はい。
0:42:42	まずその通りですって。
0:42:44	代表ゴトウタテない場合もあった場合はちょっとフォーマットが変わるんですよね今の書き方だと。
0:42:54	はい。日本原燃志田でございます。はい代表が違うパターンの場合も確かにありますからただ、ここに書きづらいのは、そういったものを全部押しなべて、誰を主軸にしようかっていうのを、
0:43:09	説明グループの設定かなと思いますので、1個1個だけに確認は辛いかになっていうのは思います。はい。それは理解してますがその代表を設定しているところの前ぐらいに、まずは説明グループ、
0:43:25	として考えて、
0:43:26	結果代表になりますぐらいの、
0:43:31	それぞれの考え方がもう少し、ちゃんと分類してわかるように、
0:43:35	していただきたいなというところなんですが、イメージわきましたでしょうか。
0:43:41	はい。乳井リーダでございます。私の思ったイメージでまずやってみます。はい。規制庁甲斐です。
0:43:54	規制庁小高です。今の話でいうと、具体のイメージを、参考のところをブラッシュアップする中で考えていただく、いただきつつ、
0:44:06	12 ページで資料として何を表したいのかということの記述の中を、

0:44:15	対応いただくということで今の話は 12 ページの最初の矢羽根のところがいきなり代表っていう話になってるんで、
0:44:26	そもそも説明グループの考え方っていうのをどこにどう書くのかと。
0:44:31	いうことを、あわせて
0:44:36	代表性については広告ということを記載して 3 項の方の、このですよというのがわかるようにするっていうことだと思いました。
0:44:48	合わせて私の設計項目の考え方っていうのは、その前に書き、書いてないんで同じように書いていただくということかと思いましたけど、いいですかね。
0:45:01	はい。乳井ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りかと思しますので、それぞれの項目で書くべきこと、あとは先ほどの
0:45:13	設計、
0:45:14	主要な説明グループの代表の考え方っていう説明の前にそもそも設計アベグループの設定の考え方を、本文でちゃんと定義をしていかないと、後で繋がりませんので、そこを、
0:45:27	記載を、
0:45:28	させていただきます。はい。
0:45:42	コサクです。
0:45:45	大分イメージはできたんですけど、話が戻っちゃって申し訳ないんですけど先ほど
0:45:53	11 ページ側の上のなお書きのことですけど、関係性明確にするっていう話でいうと、
0:46:04	10、12 ページのどこかにも書いてあるようにも見まし、ちらっと見うけてあれっと思ってイマイ。
0:46:13	話したんですけど、見失っちゃってすみません。
0:46:18	どう言えばいいんだろうという感じなんですけど、
0:46:21	何か、これですかみたいのあります。
0:46:35	イデニシダでございます。書いてあるようで書いてないですね、書いた人間が言ったんですけど、
0:46:42	11 ページで、項目間の設定の仕方をかけつつ、
0:46:48	複数の設計へ設計項目がある場合はと言って 12 ページの頭から 2 番目の矢羽根で、それぞれの分類の書き分けをしてねと言って、
0:46:59	コラボの話、ひもづけるとは書いてないので、この辺で同じように展開をする必要が、

0:47:07	あると思います。そういう意味では、上で書いている共通的な考え方と留意事項がうまくマッチしてないという、像のごとくの丁寧さがありません。
0:47:17	いうところかと思いますがので検討します。
0:47:22	はい。コサクです。今言われた場所でした。どちらでどの程度CAQのが適切かっていうことも含めて整理をしていただければと思います。よろしくをお願いします。
0:47:35	はい。人間のイセでございます沖いたします。
0:47:42	規制庁カミデです。資料 2、本年の結城委員。
0:47:54	2 ポツ 3 つか、これで耐震の資料 2 がちゃんとつくれるのかなっていう、思っていて、
0:48:05	基本的にはその設置要求機能要求、あと、評価要求が書かれている基本方針を並べますということを、
0:48:16	あとは案には思うんですけど、す。この記載だけで、耐震とかが綺麗につくれそうかっていう、ちょっとなもんですかね。
0:48:37	はい、乳井西原でございます。
0:48:40	かなり共通的な考えとして、書いた部分が多いので、
0:48:48	タイ品も同じようにこれを見てくださいかという、クエスチョンマークが並ぶ可能性があります。農業も含めてこの文章、
0:48:59	さらに確認、整理をする中で、耐震のことにも思いを入れて、
0:49:08	この文章であたしつくれますよねっていうところまで持っていけないと思ってますので、そこは整理をさせていただきたいと思います。
0:49:18	とはいえあまり特別なことでもないと思うのでそういったところで抜けなくできるようなケアを文書していくということかと思いますが。
0:49:30	はい。規制庁神です。なかなか考えが書いてあった方がいいと思いつつ、どう進めますかっていうことで、今
0:49:39	まずはここブラッシュアップして認識を合わせて作業に入りますということであればそれでいいんですけど、
0:49:46	対応方針の方だと、何か資料 2 のこの辺の話は 5 ページに書いてあって、9 月 12 日に対応できるって言われてると思うと、
0:49:57	何かもうほとんどできて、物を見てもらうのもうばっちりですよっていう状態であれば、そのワンステップを無理無理挟む必要もないのかなと思ってるんですけど、どうですか。
0:50:18	ケース規制庁コサクです。ちょっと

0:50:21	補足なのか何だかわかりませんが、耐震でどうできるかっていう関係でいうと、評価者として認識していたものをちゃんと設計に持ってくるということだったと思うんですけど、
0:50:34	そうだとすると先ほど私からお話した 10 ページ 11 ページに繋がることを、しっかりとしていけば、対応できるのかなって気もしつつ、
0:50:49	大枠、耐震設計上考慮ってこの項目をこうですよってというのは、一度お話をしてあって、
0:50:58	それが先ほどの 10 ページからのところを書き直す中で表現がそれで十分になるのかどうか。
0:51:07	そのあとの矢羽根のところで、具体で何か書いた方がいいかどうかということになるのかなと思いましたけど、次、実態の作業状況を踏まえてどうお考え。
0:51:22	はい、日本インダでございますはい、ありがとうございます。
0:51:25	おっしゃっていただいたように耐震として 2-1-2 の整理ですね、我々が一度新野に振りすぎて
0:51:36	混乱をしてさせてしまったところありましたのでそういった部分何回かお話をさせていただいて設計として考慮をしないといけないものをしっかりと抜き出してくると、考慮すべきということとして構造設計等でかけ合わせていくと。
0:51:52	いう整理はすでにやっていますやってきてますので、そういったことを考えて、この本文がうまく書き上がってなかったと。
0:52:02	ということだと認識をしておりますので 10 ページからの下り側の書き方ですね、全体を受けた形でどう展開していくかという中で、
0:52:12	評価、単純にいくだけではなくて評価のことを考えた上で構造設計として考慮すべき事項というのをしっかり資料 2 で紐づけて整理をしていくと。
0:52:23	いうところがまあ、耐震としても、耐震だけではないと思いますので、耐震としても考慮する必要があるところだと思ってますので、物自体の展開はすでに作業としていて、この本部長の柿原アカシ方が、
0:52:38	うまくなかったという状態だと、まず認識をした上で、並行して、ブラッシュアップを進め、資料としても整えていくということでやらせていただければと思ってました。
0:52:52	はい。規制庁上出です。

0:52:54	具体は何回かやりとりしているのですが、作業が進んでるってことだと思うんですけど、その、改めてのこの健康化というか、っていうところで反映してもらおう、本文側にも考えた。
0:53:07	してもらおうということで
0:53:10	そのあたりは、明確な理由に落とし込み後、
0:53:19	はい、宮城西田でございます承知いたしました。
0:53:24	はい、規制強化です。資料については私は以上です。
0:53:33	静聴ヤマグチです他資料2に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:53:42	よろしければ、あと都築資料3について、
0:53:49	13ページから3ポツ、図等原燃側から説明お願いします。
0:54:03	日本原燃志田でございますはい。資料3については、資料として整理をしつつ、なおかつ本文としてのやり方、考え方の具現化と。
0:54:16	ということで、整理をさせていただきました。
0:54:20	ただ若干、資料の展開を構成をなぜこうしたのかと、1回ということの、記載がまだまだ十分じゃないような気がしてますので、それぞれどうしてこういう展開の仕方にしたのかっていうベースのもとの考え方をしっかり書きハラさないといけないと思ってます。
0:54:40	あとは13ページのところですいません消したつもりがます。英敬なくて2-2とか2-1と残ってますがこの章番号との重複もあったりして混乱するのでこの番号は、
0:54:54	使わないようにしようと思いがらまだ残ってました。これはケース方向で考えてます。
0:55:00	はい。
0:55:01	あとは、13ページの下側で、いきなり分類中での小項目の書き分けだったりってところがグローボックスの話をいきなり出しているのがこれ前の資料2だったりの話と同じで、
0:55:17	共通的な考え方を書いた上で例示としてMOXのやつを出すのかその辺の例示であるということも含めた、この記載がまだまだ十分ではないというふうに思ってますので、その整理をさせていただくと。
0:55:31	ということと、先ほどあった2社13ページのところの設計上の配慮事項これをどう使うかと、いうことの整理も、まだ結論、
0:55:41	的なものも、すいません私の中でも提示できてないところあるので、ここは引き続き整理をした上で、本文浄土を書き表して、実際の具体的にどういう使い方をするのかと。

0:55:53	いうのを展開をさせていただきたいと思ってます。
0:55:57	はい。
0:55:59	あとは、14 ページからは、それぞれの資料の構成に合わせて、留意事項ということを書かさせていただいているということでございます。
0:56:09	3 ポツ、説明以上になります。
0:56:15	はい。規制庁山口です。それでは資料 3 に関して規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:56:37	規制庁課ですと、とも、
0:56:41	そんな話、そんなに
0:56:45	方向性が定まった話でもないんですけど、55 ページ目に、詳細設計展開表で、代表等、
0:56:53	代表以外のものを説明すると。
0:56:58	あって、代表に関してはそのタイトルで、これが、
0:57:03	代表ですっていうのがわかるようにして、代表以外のところは、他のパーツを、
0:57:10	藤代表以外の設定説明分類のところで、
0:57:14	記載していくと、そういうことでよろしいですか。
0:57:20	はい。井上瀬谷でございますはい。おっしゃっていただいている通りでございます。代表は代表はそうですね。資料 3 のタイトルでわかるだろうということですのでそうしてますはい。
0:57:31	はい。成長、その上で結局、その差分という
0:57:39	その差、サブのその具体的な内容っていうのはどこに記載するということなんでしょうか。
0:57:49	構造設計のところで、藤さん。
0:58:01	はい、乳井でございます例示として差分なしのやつを使ってしまってるので、そこ、どこでっていうのは一番右側の欄で展開をしようと思ってます。
0:58:13	そこはもともとの設計方針の違いがあるところも含めて、それでも差分があるのかなのかというところの丁寧な整理をしようというのがもともとのコンセプトでございます。
0:58:25	あとは下がったときにどうするかっていう例示がないと、多分具体的なイメージが天田展開をうまくできない可能性もあるので、
0:58:34	あるんだっけ。
0:58:36	ないの。
0:58:38	三国イデ君。

0:58:40	最初に檀、
0:58:42	はいそうだな。
0:58:43	具体的な例示も考えます。はい。はい、規制庁カセサノ社製、おっしゃる通り社製であったので、イメージが湧かないというのが一番の違和感でしたのでまた今後、
0:58:55	その本当に差分があつて、ちゃんと説明するものがどの程度のメッシュ間でどう説明されるのかというところを確認していければと思いますのでよろしくお願いします。
0:59:07	はい。日本原燃瀬谷でございます承知しました。
0:59:20	長ヤマグチです。他資料3で規制庁側から確認がない。よろしいでしょうか。
0:59:27	古作です。まず、本文で、
0:59:32	行きます等、
0:59:36	13 ページ、これ、空気を入れて、固まり分けてますけどその考えってどういうことですか。
0:59:50	はい、日本のイシダでございます。はい。
0:59:55	もともとは、学部の考えを、一番上の塊。
1:00:05	その中での
1:00:11	あるポイントに絞った説明を行分けてやりたいなと思ってはいて書き始めたんですが、
1:00:19	また違って開業してるん違う話を書いてたりするので、そこが多段落の意味がなくなってしまうかもしれません。はい。
1:00:30	古作です。
1:00:31	えっとですね、話が2 転 3 転してるように見えてまして、分類間での代表及び差分の説明ということと、
1:00:42	分類の中で複数設備ということでの代表搭載ということで、第1 段ラックじゃないやその塊の一つ目と二つ目が、
1:00:55	レベル感でっていう感じになってんですけど、これ分けて書いてもしょうがないよなんていうようなことが五つ、それにぶら下がってる文章がまた意味が違ってる。
1:01:06	んですよね。
1:01:08	なのでちょっと再構成していただかないと混乱するなと思ってますけどいかがですか。
1:01:14	はい。日本原燃石田でございますはい、ありがとうございますはい。全体として、ここで語るべきことをもう一度、整理をして、

1:01:23	繋がりを持って説明するところは同じターム泉なり、して、整理をしています。
1:01:30	おっしゃっていただいている部分で
1:01:34	違う意味になってるところはそのつもりはなく感じながら、結果そうなってしまっているとは思いますが文章としても、再構成をさせていただきます。
1:01:44	はい、蘇武です。
1:01:46	一方何でかなっていうところを考えると、
1:01:52	最初の分類感っていうところ言えば、先ほどの話があります。
1:02:00	だけど、
1:02:01	ここで話すのがいいと。
1:02:05	そこは 55 ページですね。
1:02:09	もうこれの代表以外の設計説明分類というところであらわしますよというのが最初の話であって、
1:02:17	なんですけど、
1:02:20	この話は、基本はその書き方みたいなところ
1:02:26	14 ページ側で書き下していくってことなのかなあとと思います。
1:02:32	衛藤。
1:02:36	はい。今、それは書いてるんですけど。
1:02:39	はい。井上ニシダでございます。それが多分繋がってないんでしょうね。はい。おっしゃる通りだと思ひまして、番号で紐づけるとか本当は、
1:02:52	14 ページで書くことだと思います。そこが、
1:02:58	差分の話がいきなり出てきて、ひもづけをするとかが書いてないので、
1:03:04	ちょっと再構成ってのはそこも含めて再構成が必要だと思いますはい。
1:03:10	はい。
1:03:10	そうです。衛藤。
1:03:13	差分の話でいうと、55 ページで何かそういう対応をとる。
1:03:19	窓口ができてるんですか。
1:03:26	それがいいですかね設計、その排除事項で何か差分なしとかって書いたりしますが、差分あった場合ってここで書くんですか。
1:03:39	ではなくて、コサクのところは、
1:03:44	はい、井上西原でございます。はい。先ほど差分がないやつを例示してしまったのは多分、
1:03:52	いろんなの間違いノモトな気がしていて、症状の記載は、

1:03:57	河川とか、多分差分ところがあればそこの被害を示し、御もともとの構造設計上の話での差分がある場合は、
1:04:07	構造設計のところを書いていくというつもりでした。
1:04:11	そうなると、配慮事項の差分は何か意味あるのかって話だよな。
1:04:16	まあ多分ミナミは、
1:04:19	はいちょっと整理をしないといけないと思いますアノ代表構造設計の中でどう書き表していくのかということも含めて、ページを作りながら、本当にここで書き切れるのかということも含めて整理をしていきたいと思います。はい。
1:04:34	はい。コサクです。そこの辺りがですね 14 ページでも、差分に係る説明を示すとしか書いてなくて、どこにどういうふうになっているのが全然ないので、
1:04:45	参考のほうを見に行かなきゃっていうことになり参考見ても、
1:04:50	一応なんかない場合はバーを示すってなってますけど。
1:05:00	1C02Dは配慮しますけど、ここではみたいなどころになるので、もうちょっとわかるように、
1:05:09	本文側、或いは、参考の方の文章、
1:05:13	具体等、
1:05:15	いうことをしっかりと展開していただきたいと思います。話を戻しますとその上流としての記載としては、
1:05:25	そちらの具体の展開ですね、記載としては、っていうのは 44 ページから書けばいいんで、骨格という考えのもとでどういう構成で記載した方がいいのかっていうのを整理をしてください。
1:05:40	福士。はい、乳井西田でございます。はい、承知いたしました。
1:05:47	規制庁コサクです。関連するんですけど先ほど言いましたように考えて整理して関連するですと 3 ページの下 2 行目に、
1:05:59	城端時報というのがありますし、おられたんですけど、構造設計で書きますけど、構造設計ということも入ってるので、いただければと思います。
1:06:15	はい、植田でございますはい。承知しました設計上の改良事項の位置付け、どういうふうにするのか、あと構造設計として、
1:06:29	書き分けていくところも含めて、どう、どこにどういうふうな展開をするのか。
1:06:35	というのを、種整理をさせていただきます。

1:06:55	規制庁山口です。カー資料3に関して寄生虫学の確認ございますでしょうか。
1:07:04	よろしければ、どこごめんなさい、資料3D、あまり、
1:07:13	文章。
1:07:14	で言うほどのことではないんですけど、
1:07:18	目次なり、具体的な図面での書き方みたいなことでも、条文番号とか後期でとかって書いてあるので、
1:07:30	開いてもいいかと思うんですけど、
1:07:35	現状示されている、資料3、②見ても、もうちょっと見やすくないのかっていうふうに思ってます、
1:07:48	等、
1:07:52	等の状況だと、
1:08:01	56ページが目次でそのあと図面が57%ということですけど、
1:08:14	関連する。
1:08:20	ですね。
1:08:25	ええ。
1:08:26	どう。
1:08:30	56ページで見る等、表の中の(1)っていうのって書いてある枠は、全体、概要を示しているところで、
1:08:40	その内数としてABC
1:08:43	というふうに繋がってきますよということ。
1:08:46	まず、その構成がわかるように各ページですれどこっていうのが見失わないようにしてほしいと言っても初めてどこだっけっていうのを見ても、何か大変なので、
1:08:59	一応今、ABCの関係は、57ページ見ると、
1:09:05	一応
1:09:07	図で書いてあるところの、左上には書いてあるんですけど、ちょっと埋もれちゃって見にくいので、
1:09:13	目次との対応関係で線の上にも書いていただきたいというふうに思っているのと、
1:09:20	複数ページに跨っているところはそれも
1:09:24	意味がわからなくなりかねないので目次でも明確にさせていただきつつ、対応いただきたいと思います。
1:09:33	概要のものは概要ということで、整理でしょうか。

1:09:39	はい。野木ニシダでございますはい。承知いたしました。目次のところで書いていることの構成が、
1:09:48	このページでもどの位置を説明しているのかわかるようにさせていただきますの、57 ページで言う
1:09:55	右側のポイントの形の上の線のヘッダーのところですね、計画ということで整理をしたいと思います。またおっしゃってた、例えば 56 ページで聞いてから 12 と書いてあるもので幾つかのページに跨るものがあります。
1:10:11	これは終了分で決まってる場合は例えばPOS艦隊の詳細構造という詳細内容の説明内容の欄にですね、
1:10:21	分ければどういう構成でこれを展開していくのかというのが、目次の中でもわかるようにした上で、紐づけができるようにというふうにさせていただこうと思います。はい。
1:10:32	その辺全体見てまたいろいろと言いやすいようにですね機能付がわかりやすいように、提示提示していきたいと思います。はい。
1:10:42	はい、細田ですよろしくお願いいたします。あと、57 ページ 58 ページとかで見ると、
1:10:50	関連、
1:10:51	条文のものは、出資がわかるように丸が振ってあって、内容が見やすくなってるんですけど、通常分のものは逆にベタ張りになってこの枠って何なのっていうのは、文末の
1:11:06	例えば 57 ページの下のやつで言えば負圧維持っていうのを見ないとわからない。
1:11:12	ということだったりするので、もうちょっと申請を高く同じように丸で書くのかというところは、
1:11:20	議論としてしていただいた方がいいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:11:24	はい。姫野イシダでございます。はい、ありがとうございます。おっしゃっていたように耐震、57 ページで、関連条文でいう耐震はキーワードどういったことを考慮しなきゃいけないかっていうのを、
1:11:37	わかるように、00 で記載をしていますが、閉じ込め側が特にそういったような、同じような記載になってないというところは、閉じ込め、何の記載を同じようにマルで、キーワードを変えて、どういう項の話をしているのかと。
1:11:52	というのがわかるように、合わせて展開をしていきたいと思います。はい。

1:11:58	はい、そうです。そのキーワードなんですけど、どっからそのキーワード出てきたのとかっていうのは何か整理。
1:12:05	例えば耐震で書いているやつとかは整理できてますかね。なんかページ跨って見ていくと、何か同じこと違う表現してるぞみたいのが見えなくてもないんですけど。
1:12:15	はい、日本イシダでございますはい。そこもですね、どこかで提示をしていきたいと思えます基本的には 3-01 とかで、
1:12:25	項目を立ててそれぞれの設計を展開しているところがひもづいて三の丸に行きますので、そこで機器項目分類をしてキーワード書いているものが、
1:12:37	繋がるようにというふうに思いながらも、実際そうになってないところも多分あるので、そこを整理をさせていただければと思います。はい。
1:12:48	はい、赤木です。それで言うとあれですかね、56 ページの目次Gで書いてある内容、
1:12:58	見えるようになっていけば
1:13:01	っていう気もするんですけど、大変、これ、今書いてあるのっていうのは、301 との関係で何か繋がってるもんですか。
1:13:19	はい。乳井ニシダでございますはいもともと 3 の①で構造設計とかに書いてあんのところで、この括弧で書いてあるキーワードをですね書いて、
1:13:30	それぞれ所書き表せというところと紐づけをしようとして、この記載をリンクというのはどこでした。はい。ので、そこも含めて全体整理をして、
1:13:42	見やすさだったり紐づきだったりがちゃんとわかるように整理をさせていただければと思います。
1:13:49	はい。わかりました。
1:13:52	配慮ができそうなので、
1:13:54	いや、急にちょっとします。
1:13:58	阿藤 59 ページ。
1:14:04	なり
1:14:06	一方、こっちきけど、これ 7 ページっていう感じの寂しいなって
1:14:23	これでわかりますかっていうようなところなんですけどちょっと説明していただけますか。
1:14:39	はい。与儀ニシダでございます。
1:14:43	まずう。
1:14:46	そうですねこれの位置付けをちゃんと整理をして、これ資料 3 の②と、

1:14:53	資料3の③のリンクの話も含めた、
1:14:59	これはもう資料3の③として、全体整理したらいいんじゃないかなっていう気がするな。
1:15:05	ここにアノコサクです。少なくとももう
1:15:12	結局図面、図面っていうか、説明としては
1:15:18	Wというかですね、機器として両方に乗るわけですよ。
1:15:23	はい。
1:15:24	そうすると、この例示の時に、単に四角囲みの中2、※書きでその振りますっていうだけじゃなくて、
1:15:34	同じ設備をここに載せていただいて、②の時にはこういう説明になりますよと。
1:15:43	図面もこうですよ。一方で、その他、その関係で、③変更点があるというものは、③の方ではこういうふうに表示器になりますよっていう対比が見れるように書いてもらうと。
1:15:57	イメージが湧くかな、なんであの前002都丸さんがあるのかということも、ビジュアル的にわかるかなと思うので対応いただきたいなということと、
1:16:09	60ページこれ開示で対応してますけど、
1:16:13	これは維持でつくれませんか。
1:16:20	はい、日本イシダでございます。はい。手書きで書いても書けそうなので。はい。はい。こんな細かい図面じゃなくても、意図は通じると思うので。はい。整理します。
1:16:31	はい。
1:16:32	よろしくお願いします。以上です。
1:16:39	出張ヤマザキですとか資料3に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:16:45	施設オカです。57ページ目で、ちょっと今ここで聞くことかどうかな悩んでいたんですが、57ページ目に追加されたその要領の、
1:16:55	話、3ポツですかね。
1:16:58	また書きのところ、
1:17:00	これって、サンプル的に言うと、今回の江藤グループ井の、
1:17:06	ボックスのグローブボックスでリュ
1:17:10	で風量を出すところで、貯蔵施設とかの
1:17:16	容量はグループ3で説明するっていうことに、
1:17:20	サンプルとしては関係するのかなと思うんですが、

1:17:25	ここで資料 4、設定根拠等を、
1:17:29	用いて説明するとあるんですが、資料 3、
1:17:33	を使ったりしてその構造を 1 回担保をとっておかないと、なかなか貯蔵の容量とかが崩壊熱のインプットとして、
1:17:44	風量の、
1:17:46	資料 4 で説明するものにならないと思うんですが、この辺ってどういうふうに考えてい
1:17:52	いけばいいんでしょうか。
1:18:00	古作です。
1:18:02	質問を私が答えちゃうのも良くはないんですけど、最終的にこの要領って、換気システムのセットものになってくるっていうつもりもあって、
1:18:13	というような気がするんですけど、そもそも
1:18:17	この関係へのインプットっていうことになると思うので、
1:18:22	それと言えばこちらのグローブボックスとしての容量というのか大きさっていうのは、仕様表での主要寸法になっててここで説明すべきことだろうと。
1:18:34	思うんですね。その上で、
1:18:38	グローブの個数云々とかっていうのがまた関係してくるような気もしますけど、
1:18:45	とそういう意味でわあ、
1:18:49	資料 4、パスを送るものを、
1:18:54	しっかり書くということになるのかなと。
1:18:57	思ってたそれは前回寸法としてはみたいな話も少ししたと思うんですけど、何か対応されてます。
1:19:19	はい。日本原燃平でございますまず
1:19:25	何て言えばいいかな。説明グループ一井、神吉とか、町道をセットにしたのは、おっしゃっていただいた通り、容量としてのインプットを与えて可能。
1:19:39	肝機能設計側にバトンを出そうと思って入れました。実際、グローボックスごとの駿東っていうのは当然ながら仕様表に書いてたりというもので構造設計側で言わなきゃいけないことは、
1:19:51	資料 3 でちゃんと言うということでそれを前提にしてその容量が適切かっていう最終的な判断基準との関係の評価は資料 4 に預けると。
1:20:01	いうことだと思ってますその辺の書き分けは、整理をしていますので、あとは今書いてるような記載がですねその考え方に沿って、

1:20:11	変えているかということをもう一度見る必要があるかなと思います必要な容量等の性能に係る設計方針は、いきなり書いてあるものが一体何を言いたいのかっていうのが、多分、
1:20:21	曖昧な部分もあったりするのでその展開を丁寧にさせていただきたいと思います。
1:20:29	はい。規制庁若井です。そ、そこはもう理解した。
1:20:34	例えば 16 ページに、
1:20:36	とぐるグループ 1 で、そのグローブボックス自体の容量がわかるんですがその入力になるような、
1:20:45	ラックピット棚の貯蔵能力等の
1:20:49	ことはグループサービスで説明しますというふうになっていて、
1:20:53	ここ、これも結局はその風量のインプットにはなるような情報。
1:20:59	だったりもして、こういうそのグループグループを跨いで、評価者と構造物が、
1:21:06	別のところで説明されるような場合は、しっかり構造の方で担保をとってから、
1:21:13	資料 4 に、
1:21:15	いくのかとかそういうところを、
1:21:19	はいかがですか。
1:21:27	はい。日本原燃瀬谷でございますおっしゃっていただいているところは説明グループを変えるときにかなり悩んだのは事実でございます。
1:21:36	自分で行けるだろうというところはギブンで与えた上で後でその根拠を説明するってやり方もあるかなということで、説明グループ 1 と 3 で、共同のところを挙げさせていただきました。
1:21:48	例えばですけど、
1:21:51	システム設計としての換気設備を、負圧をセットで説明しなきゃいけないっていうのはおかしく、インプットアウトプットの関係でそれはさすがにギブンで説明するのはきついと。
1:22:04	ということで、説明グループ 1 で、前提として説明しようということで設定をします。その辺は説明グループをどう設定したのか、あたしそれで後ろに行ったときに、設計として後戻りがないのか。
1:22:18	いうところを、整理をしながら、説明グループの設定が本当にそれでいいのかというやりとりになるのかなと思ってます。現状は

1:22:28	共同容量だけをまずセットした上で、換気設備のシステム設計とのコラボをして、実際その容量が入るかどうかの、入る、入れる入れ物の構造は、
1:22:39	後のグループに設定しても説明してもう、
1:22:44	いけるだろうということでももとは整理をしてました。
1:22:47	はい、規制庁からじゃ、その評価の前段階の構造のところで担保をとらないまま、一応そこで、
1:22:58	評価の条件としては担保をとった取って、あとでそのグループを説明する時に構造を説明するときに、その担保をとってない。
1:23:08	部、
1:23:10	造である
1:23:13	はい。
1:23:14	書かれていると、いうことですね。
1:23:17	はい。ヤギニシダでございます。おっしゃっていただいている通りでございます。はい、末次です。
1:23:23	ちょっと要領とかはいろいろあるかもしれないので手戻りがないようにというところではあるんですが、
1:23:29	とりあえず今の整理は理解しました。
1:23:41	規制庁コサクです。今の点で言うと
1:23:45	総合関係があるものは予備、呼び込むというかですねどこで管理するかというのわかるようにしていくってということだったと思うんですけど。
1:23:54	その配慮ってどこに書いてありますか。
1:24:07	はい、日本原燃池谷でございます。
1:24:12	書いた記憶が思い出さないの、書いてないと思いますがおっしゃっていただいている通りのところはケアをしないといけないと、さんざん言っていた、私も確認していたので、
1:24:23	資料3であつたりのところで、資料3もそうだし資料2でもそう。
1:24:29	カナダは少し
1:24:33	着眼点は話をしたんですけど、
1:24:37	資料3で、四角囲みで書いてあるやつに、
1:24:44	矢印内で打って書くことにされてたような気はするんですけど、この参考の中で、
1:24:52	ぱっと見てみなに当たらないというか見つけれない。
1:24:55	明確にしといてください。

1:24:58	はい。はい。ヤギニシダでございますはい。ありがとうございます。この辺りもI義務づけ進めて、整理を進めます。
1:25:15	県庁ヤマグチです。ごめんなさい。規制庁コサクです。今の点ですね次の内容になりますけど資料4の方でも、資料3番をいくとこれでクローズしてくってことになると思うのでよろしくお願いします。
1:25:28	はい、宮城西田でございますはい。ありがとうございます。はい。資料4でも同じようにリンクを張らなきゃいけないっていうのは認識して、はい。
1:25:40	規制庁山口です資料3については、規制庁側から確認ありますでしょうか。
1:25:49	次、それでは続いて資料4に関して、
1:25:54	原燃あったら説明お願いします。
1:25:58	いや、
1:25:59	はい、日本イシダでございます。はい。資料4についても、この本文を示す時に、どういうことをやっていくかどうかのある程度のイメージがわかるようにと言いながら、すいませんまだ、
1:26:11	検討中のフラグが立ってる状況で、現状考えていること廻谷近いです。
1:26:17	はい。15ページの本文4ポツで、解析評価等ということでやるべきことが何かということを示していますが、
1:26:27	実際それはですね。
1:26:32	理事長仙頭塩野。
1:26:34	どこだ。
1:26:36	61ページからですね、
1:26:41	オオオカ項目の整理洗い出しから代表の整理、あと資料4として見たときには、評価条件だったり評価方法といったものを、
1:26:54	整理をして、代表による説明ということの展開をしていくと。
1:26:59	いうことで考えていますということでございます。
1:27:03	それ以降にあるのも、評価項目の整理ということで代表の考え方の整理ということを62ページのような表で整理をしていくと。
1:27:16	いうことで、63ページは評価条件とかをどうやって、資料3のような形でも含めて、展開していこうかと。
1:27:26	いうことを整理をしています。実際は
1:27:31	評価にあたって考える
1:27:35	ポイントですねそれを評価条件等と書いてある欄で、挙げた上でそれぞれに対する考え方を整理をしていくということと、

1:27:46	代表で、東京の考え方の具体をどう設定しているかと、いうことを示していくということ、展開をしたいというのが、もともと考えていたところでございます。
1:27:58	ただまだ、具体的な例示も含めた整理が十分できている状態ではないですので、ここは引き続き、整理を進めたいと思っておるところでございます。説明は以上です。
1:28:12	はい。規制庁山口です。それでは、資料 4 に関して規制庁側から確認ございましたらお願いします。
1:28:28	基線長の藤です。
1:28:30	ありがとうございましたお願いします。
1:28:41	規制庁コサクです。
1:28:44	まだこれからということなので、細かいところは、
1:28:49	この時に議論すればいいと思うんですけど、いつぐらいにどうするかというのがありますか。
1:29:03	はい。日本インダでございます。はい。
1:29:08	他の本文事項も含めて直すタイミングよりも、ワンクッションくれるかなと思ってまして。
1:29:22	今、
1:29:23	今日いただいたものも含めて本文の手直しは、9 月 11 日だったときに何とか間に合うものは間に合わせたいと思いながらも多分次の
1:29:33	見直しを出すタイミングで、そこがジョイントできるかなと、4 ポツはですね、というふうには思っていました。
1:29:43	規制庁、蘇武です。わかりました。
1:29:53	規制庁山口です。資料 4 に関しても引き続き、
1:29:59	整理ってということだと思んですけども、規制庁側から確認したい事項あればお願いします。
1:30:10	はい。
1:30:10	規制庁上出です。一応イメージだけ確認しておきますけど、
1:30:18	63 ページみたいな表が、また資料 4 で出てくるともうあんまり思っていなかったんですけど、どんなもんなんですかね。
1:30:32	はい、日本インダでございます事務評議員。
1:30:37	思いと違ったかもしれませんが、
1:30:40	63 ページみたいなものを考えてました。
1:30:44	実際は、

1:30:47	私のイメージが合ってるかどうかですけど、耐震で耐震綺麗に 17 でやったみたいな耐震計算のプロセスにおいて、代表、
1:30:57	どういうふうに具現化したかみたいな話を同じように展開するっていうイメージで今、ものを展開しようとしてたところでした。
1:31:08	すいませんコサクです。
1:31:11	63 ページ縦軸なり何なりがいいのかどうかっていうところ。
1:31:15	なんですけど、耐震はその全体に共通するんで、整理をしないとイケないかなと思うんですけど。
1:31:23	こちらの方をどこまで細分化してやらないと類型として話ができないのかっていうのは、あんまりそんな深追いしなくてもできんじゃないのかという気がしてます。具体的な評価項目とかですね。
1:31:36	いうぐらいで、
1:31:39	より容量ない
1:31:42	というような言葉でまとめられる部分がある。ちょっと容量はやり過ぎかなと思いますけど、あるんじゃないかなと思ってます。ただ、
1:31:53	何らか整理しないとなってるというのは確かで、資料 2、
1:31:58	どっかわあ、
1:32:01	構造設計での整理を主眼にして、類型分類やってるので、そのままでは評価の類型ができないということだから、それをどういうふうに整理をしていくのかっていうのは議論が必要なんだと思います。それをその資料 4 でやるのか、資料の 2 に追加でやるのか。
1:32:19	そのあたりの話なんじゃないかなとは思ったんですけど、現状は資料 2 では評価という大枠だけにしといてその内数もあまり書かない。
1:32:30	で、資料 4 のここでやりますっていう感じに見えますけどそれでいいのかどうかも含めて検討かとは思ってますが、どうですかね。
1:32:38	はい、米田でございます。ちょっと我々の私の説明が足りなかったかもしれませぬ。実際考えてたのは資料 4 でもやるし、資料 4 に渡すキックをですな資料 2 を、
1:32:52	上書き性というか、純療養を作る段階でリバイスして、評価の視点での代表だったりの、ビークがとれるように、作り、作りを作るというか、情報を追加しようということで考えてました。
1:33:08	そういうステップも実際わかるように、引き続き整理をさせていただきたいと思います。それで先ほどの資料 4 で出てくる、64 ページでいう一番右側の、
1:33:19	評価条件等っていうところの仕分けがですね、

1:33:22	細かくなならないようにっていうのは 64 ページの下側がまさしく資料 2 なんですけど、ここでの設定の仕方構造設計との関係でどういう整理をするか。
1:33:34	今いきなり括弧で 64 ページで言う設計説明ぶりの設計分類かな、
1:33:40	Aのところ、赤字が評価のところ、ダーツと書いてありますけどこれがいきなり右側が左側の方から出てくるのかっていうところも含めて、整理をしないとイケないと思ってます。大分細分化過ぎてる気もするので、
1:33:54	その辺をどういう整理をするかっていう考え方を組み立てていければなと思ってました。
1:34:10	規制庁山口です。
1:34:14	すいませんと一旦ちょっとここでヒアリング休憩挟みたいんですけども、ちょっと引き続きまだ確認はあるかもしれないので改めて再開後確認しますが、原燃においてはちょっとあの振り返りの準備に向けてまとめとかを進めていただければと思うので、
1:34:31	よろしくお願いします。
1:34:34	一旦、17 時間 40 分再開めで、一旦ヒアリング中断しますので、本町まねる金野停止お願いします。
1:34:45	はい。録音を停止します。
0:00:00	録を再開しました。
0:00:04	規制庁山口です。それでは引き続き資料 4 に関して、規制庁側から追加で確認ございますでしょうか。
0:00:15	規制庁上出です。途中だったんですけど、あれですね、資料 4 もう 15 ページに書いてあったり今まで説明あったように資料 2 を受けて展開するっていうのは
0:00:30	今までもイデた話だったんでその部隊が、私が思った違和感 63 ページなりでた基本方針、くるんだと思っていると。
0:00:42	ね、先ほどお話があったように、
0:00:47	説明の単位がまた違うんで、また再整理しなきゃいけないとかそういう理由があつてのことであればそれはそれで、そういうもんかと思う。
0:00:57	聞きますんで今のところまだちょっと空中戦感があるんで、あれですけどそういう問題意識として、お伝えしましたが、理解いただきました。
0:01:08	はい。人間必要でございますはい。おっしゃっていただいたことは理解をしました問題意識も認識をしましたので、
0:01:17	わからなくていいか。

0:01:29	はい。資料 2、からの繋がりというのも考えながら全体として、どういう体系にしていくかと、いうことの詳細化をさらに進めていきたいと思えますあと、その考え方をちゃんと本文にも示すと。
0:01:43	ということで整理を進めさせていただきます。はい。
0:01:48	はい。白木横溝です。あと
0:01:51	目的の熱戦合わせですけど、資料 4 ができ上がった、できたときには
0:02:00	例えば耐震の計算書を、脇に置いて、何でこんな計算してるんだろなああとと思ったときに、4、資料 4 を見れば、こういう設定してるからこういうことになってるんだなというのがわかるようにしたいっていいんですよね。
0:02:17	はい。乳井瀬谷でございます。はい。まずおっしゃっていただいている通りでございます。計算書とセットで取り扱って見ていくっていう時の目線視点がちゃんと書かれていると。
0:02:28	ということでそういうことだったということがひもづけてばかり言ってるというのが、やりたいことではあります。はい。
0:02:36	はい、辻岡です。わかりました今日のところは私は以上です。
0:02:47	めっちゃヤマグチです。他資料 4 に関して規制庁側から確認でございますでしょうか。
0:02:59	はい。
0:03:00	よろしければ、共通中日本対話等を対応方針のほうの資料に、普通、
0:03:09	映りますというか、していただいて、あと本日のヒアリングを踏まえて対応方針についてどう対応してくのかっていうところで、原燃側から、
0:03:20	振り返りも含めてにはなるんですけども、
0:03:24	説明の方をお願いします。
0:03:29	はい。乳井ニシダでございます。はい。今日のヒアリングで、なかなか私も具体的にしますというところを全部のポイントに対してお話をできているわけじゃないので、
0:03:40	今現時点での振り返りもどういった鳥井があったかと、いうことでちょっと思ってますそれをちゃんと対応方針として、
0:03:51	今お出ししてるものを、もうすでに対応が終わってるものは若干ちょっと消した上で、
0:04:01	新しく起こすポイントとしてちゃんと分類をして、対応方針として整理をしていくということをさせていただきます。
0:04:11	以前申し上げた通りヒアリングの場でできない場合は、速やかに後日それを対応方針として出させていただきますということで、

0:04:21	速やかかどうかっていうところに、
0:04:25	いろいろと、
0:04:27	言われることがあると認識しながらも、来週の火曜日には、対応方針として提出をさせていただきたいと思います。
0:04:39	規制庁黒坂ですけど。
0:04:43	多くはそれでいいんですけど、そもそも今回の対応方針、どうなってるのっていうのがちょっとよくわかんなくて、
0:04:49	まず、長大なんですけど、修正ポツ対応方針の修正報つって、邪魔なんですけど、なんで入れてんですか。
0:04:57	はい。日本イシダでございます。はい。今後私が出し手を出していけなかったところではい。修正方針ってのもともと個別具体の話を一生懸命書いたところで、修正って入ってましたがやりたいことは、
0:05:10	全体的な対応の方針であったり、考え方であったりというのをこの資料ではまとめていかないといけないと思ってますので、修正ポツは外します。はい。
0:05:23	はい。コサクです。どうしても資料を直すんだっていう意識でた救うとしてどう進めるんだっていう意識が欠如してるっていうことをずっと申し上げてるんで、
0:05:33	表題からして、誤解を続けるようなことのないようにということでよろしくお願いします。
0:05:40	それで今回の、前回話して整理を少し直されて、1ポツ1が大分集約され、分類されていうことで、
0:05:53	かつ、対応予定のところでの場所でみたいなことで少しアノなら、並びをそろえる意味でもですね、整理をされたんだと思うんですけど。
0:06:03	その点で言うとう結局その本文だろうと参考資料だろう等、
0:06:11	どの時点であっていうことで全体の流れなのか資料1に共通する全体のことなのか資料1なのかどうなのかということになっていて、
0:06:23	今、1ポツ1ポツ2って分けてますけど、それも分ける必要もなくっていうことかなあと思ってます。一方で、5ページ6ページまた資料123ってなって、
0:06:38	これって、じゃあ参考で反映しなくていいのみたいなところもあるんですけどそのあたり何か考えてることあります。
0:06:46	はい。与儀西田でございますまず1ポツ11時に、分ける必要はないのは今日私も説明しながら結局本文で書いたことの、

0:06:56	具体的な例示みたいな紐づけないので、全体で資料としてこれで共通12がみんなが共通認識でつくれるんだと、いうことをやるという目的からするとわざわざ分ける必要は全くないということは認識をしました。
0:07:11	あと資料2 資料3とかで個別に展開をしているもの、まだ残ってます。これも
0:07:21	地上共通12を作っていくぞということで共通的展開をしようとした時に、公表しないといけない
0:07:30	個別と言いながらもキーワードをではあると思うので、こういったものを参考の中で各本部の中でも当然ケアしなければいけない、配慮事項として展開するなり、本文の
0:07:44	全体の考え方の中で展開をするなりしながら観光と結びつけていくということをやらないといけないと思いますので、そういったところもケアをして、対応方針としてしっかりとまとめていくことをさせていただきたいと思います。
0:08:02	はい、そうです。そうすると今回の本部で言う1ポツなのか、2ポツ1なのか2なのかっていうようなところで、
0:08:12	もし、資料というよりは支店がそれで整理いただいたと思うんで、その上で対応いただければと思います。
0:08:19	それでいうと大体は9月12日ってなってるので、要は今回整理しきれなかったところっていうところをしっかりとブラッシュアップしていくっていう項目になるのかなと理解をしました。その上で、
0:08:32	資料4についてはその次の段階でって言われるのが、今これ、10月中旬とかってなってますけど、改めて整理をしていただければと思います。
0:08:43	はい。宮城ニシダでございますはい。ありがとうございますはいおっしゃっていただいたように今の1後期みたいな本文の構成とかではなくて取りまとめていかなきゃいけない。
0:08:53	本文の章立てになって、ポイントがそれぞれちゃんと展開をされると、いうことそれ2、3項が結びついてきて、かつそれぞれの中での、
0:09:05	留意事項みたいなものが、それに結びついてきて絶対学校されるという形、良いかと思しますので、そういう視点で対応方針をまとめていきたいと思えます。
0:09:29	古作です。個別2ポツの個別条文での対応方針と書いてありますけど、これも
0:09:40	共通で整理をして、がいい部分もあるような気がしますし、

0:09:48	もう少し、今、かぎ括弧でポイント書いていただけてますけど、
0:09:52	その点でも、
0:09:55	考え方を整理をするということがあろうかなと思うので、また、ちょっと
0:10:01	熟読して考えきれてないので、
0:10:06	こうしようというような話までちょっと消化できてないんですけど。
0:10:11	少し考えていただければと思いますがいかがでしょうか。
0:10:14	はい、日本イシダでございますはい。先ほど、全体を通して本文の章構成なりに合わせて、整理をするというのはまさしくそれぞれの条文でと言いながらも、
0:10:29	どこの資料でこれを運営化しなきゃいけないのかっていうポイントで、共通項にできると思うところもありますので、そういったところも併せて整理をさせていただければと思います。
0:10:42	はい、相磯です。最後の3ポツなんですけど、
0:10:47	これは、
0:10:48	一応あれでしたっけ。今日、ここには言わずに、共通12の方でという話はしましたけど、
0:10:55	このままこう言うてくんでしたっけ。
0:10:59	日本原燃車でございます。考えます。
0:11:03	このままいくと、かなり中ぐらいで残ったまま、何だかよくわかんない。こんな対応方針になってしまうのでここは、
0:11:12	そうですねちょっとやり方を残しながらもこれで全体の方針だということがわかるようにして、何らか軸になるタスクの中で、特質、
0:11:25	3ポツと銘打つにはさすがにちょっと辛い気もするので書き方も含めて整理をさせていただきます。
0:11:33	はい、そうです。それで言うと
0:11:37	俺の表に入る前の新聞に来ててもいいような気もするし、
0:11:42	いろいろあれば共通12の本体が
0:11:47	粉末なり、
0:11:49	なりでもいいような気もするしっていうので、少し整理をしていただければと思います。
0:11:55	はい。日本イシダでございます。はい、ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいた通りのやり方もあると思います。全体の整理をしていきたいと思
0:12:09	古作です現時点で規制庁側から他何か言いたいことがあれば言っってもらえればと思います。

0:12:17	規制庁岡です。次が医療法人出す時、今日もちよつと、医師。
0:12:22	石原さんの方でありましたけど番号を振っていただくと、その体を付けて説明できるので、わかりやすいのでそういった配慮をよろしく願いします。
0:12:32	はい、米田でございます。はい。私も読み始めて、何て説明しようかと思っただけでいい。番号札になんなり法律で、これですっていえるように、整理をします。はい。
0:12:50	規制庁山内です。他、対応方針に関して規制庁側から確認ございませうでしょうか。
0:13:01	はい。よろしければ本日の資料全体を通してでも規制庁側から何かありますでしょうか。
0:13:12	と人間側も特によろしいでしょうか。
0:13:16	はい。年は特にございませぬ。
0:13:20	はい。藤又吉については火曜日、速やかに提出っていうことだったので、よろしく願いします。
0:13:28	よろしければこれで本日のヒアリングを終了したいと思いますので、
0:13:33	あと本庁側で録音の停止をお願いします。
0:13:37	はい。